

北区・福島区及び生野区・平野区における 社会実験について

報告事業者

Osaka Metro Group
【大阪市高速電気軌道株式会社・大阪シティバス株式会社】

北区・福島区及び生野区・平野区における社会実験について

目 次

1. 乗降場所供用開始報告	3
2. 乗降場所加除報告	7
3. 令和5年度社会実験 中間報告	15
4. 事業継続に向けた目指すべき姿	17
5. その他	29
6. 議案第1号 北区・福島区における事業計画(令和6年度以降)	30
7. 議案第2号 生野区・平野区における事業計画(令和6年度以降) ...	46

1. 乗降場所供用開始報告

前回（7月6日）の地域公共交通会議以降、下記乗降場所の供用を開始（キタ/福島エリア）

乗降場所名称	エリア	供用開始日
グループホームひかり天神橋	キタ	2023年7月10日
南扇町	キタ	2023年7月10日

前回（7月6日）の地域公共交通会議以降、下記乗降場所の供用を終了（キタ/福島エリア）

乗降場所名称	エリア	供用終了日
茶屋中津保育園	キタ/福島共通	2023年7月31日
グラン・アーモTAMAHIME	キタ	2023年7月31日

エリア	7月10日供用開始	7月31日供用終了
キタ単独	2か所	1か所
福島単独	0か所	0か所
キタ/福島 共通	0か所	1か所

1. 乗降場所供用開始報告

前回（7月6日）の地域公共交通会議以降、下記乗降場所の供用を開始（生野エリア）

乗降場所名称	エリア	供用開始日
林寺一丁目東	生野	2023年7月10日
北鶴橋第2公園	生野	2023年7月10日
新今里一丁目北	生野	2023年7月10日
小路三丁目西	生野	2023年7月10日
わかば保育園	生野	2023年8月10日 ※名称変更

エリア	7月10日供用開始	8月10日名称変更
生野	4か所	1か所

1. 乗降場所供用開始報告

前回（7月6日）の地域公共交通会議以降、下記乗降場所の供用を開始（平野エリア）

乗降場所名称	エリア	供用開始日
平野クリニックビル （内科・小児科）	平野A	2023年7月10日
背戸口二丁目東	平野A	2023年7月10日
西脇一丁目西	平野A	2023年7月10日
平野元町中	平野A	2023年7月10日
たちばな公園	平野A	2023年7月10日
坂上公園	平野A	2023年7月10日
スーパーサンコー加美店	平野A	2023年7月10日
平野本町一丁目西	平野A	2023年7月10日
長吉長原北住宅1号館	平野B	2023年7月10日
瓜破東八丁目東	平野B	2023年7月10日
瓜破西二丁目西	平野B	2023年7月10日
平野西六丁目中	平野A/B共通	2023年7月10日
喜連一丁目西	平野A/B共通	2023年7月10日
ファミリーメモリアル平野	平野A/B共通	2023年7月10日

1. 乗降場所供用開始報告

前回（7月6日）の地域公共交通会議以降、下記乗降場所を名称を変更（平野エリア）

乗降場所名称	エリア	供用開始日
松田クリニック	平野A	2023年8月10日 ※名称変更
平野中央メモリアルホール	平野B	2023年8月10日 ※名称変更
特別養護老人ホームせんぼ瓜破東	平野B	2023年8月10日 ※名称変更
長吉長原西四丁目南	平野B	2023年8月10日 ※名称変更

エリア	7月10日供用開始	8月10日名称変更
平野A	8か所	1か所
平野B	3か所	3か所
平野A/B 共通	3か所	0か所

2. 乗降場所加除報告

乗降場所数と面積当たり箇所数の変更点

		変更前	変更後
キ タ	単独乗降場所	128か所	127か所
	キタ・福島共通	102か所	101か所
	乗降場所合計	230か所	228か所
	面積当たり箇所数	22か所 / km ²	22か所 / km ²
福 島	単独乗降場所	113か所	113か所
	キタ・福島共通	102か所	101か所
	乗降場所合計	215か所	214か所
	面積当たり箇所数	22か所 / km ²	22か所 / km ²

2. 乗降場所加除報告

乗降場所数と面積当たり箇所数の変更点

		変更前	変更後
生野区	単独乗降場所	187か所	195か所
	面積当たり箇所数	21か所 / ㎡	22か所 / ㎡
平野A	単独乗降場所	129か所	133か所
	A・B共通乗降場所	100か所	102か所
	乗降場所合計	229か所	235か所
	面積当たり箇所数	25か所 / ㎡	26か所 / ㎡
平野B	単独乗降場所	123か所	124か所
	A・B共通乗降場所	100か所	102か所
	乗降場所合計	223か所	226か所
	面積当たり箇所数	21か所 / ㎡	22か所 / ㎡

2. 乗降場所加除報告

2023年9月12日以降に下記乗降場所を廃止（キタ/福島エリア）

乗降場所名称	エリア	加除理由
茶屋中津保育園	キタ/福島共通	施設からの申し入れのため
グラン・アーモTAMAHIME	キタ	閉館のため

2023年9月12日以降に下記乗降場所の名称を変更（キタ/福島エリア）

乗降場所名称	エリア	旧名称	変更理由
本庄会館	キタ	本庄老人憩いの家	施設より申し入れのため
長柄西二丁目北	キタ	グループホーム ひかり天神橋	施設より申し入れのため

2023年9月12日以降に下記乗降場所の名称・位置を変更（キタ/福島エリア）

乗降場所名称	エリア	旧名称	変更理由
i-Mall 医誠会国際総合病院	キタ	南扇町	サービスレベル確保（300mピッチ）

2. 乗降場所加除報告

2023年9月12日以降に下記乗降場所を削除（キタ/福島エリア）

エリア	新設乗降場所	既存バス停留所	合計
削除 キタ 乗降場所数	2か所	0か所	2か所
削除 福島 乗降場所数	1か所	0か所	1か所
削除後 キタ 乗降場所数	134か所 (うち共通49か所)	94か所 (うち共通52か所)	228か所 (うち共通101か所)
削除後 福島 乗降場所数	113か所 (うち共通49か所)	101か所 (うち共通52か所)	214か所 (うち共通101か所)

2. 乗降場所加除報告

2023年9月12日以降に下記乗降場所を追加（生野エリア）

乗降場所名称	エリア	加除理由
特別養護老人ホーム インパレス みのり苑	生野	施設からの要望
養護老人ホーム みのり苑	生野	施設からの要望
生野民主商工会/芥川病院	生野	施設からの要望
藤井医院	生野	施設からの要望
医療法人穂翔会 村田病院	生野	施設からの要望
田島神社	生野	施設からの要望
巽西三丁目北	生野	サービスレベル確保（300mピッチ）
巽南二丁目北	生野	サービスレベル確保（300mピッチ）

2. 乗降場所加除報告

2023年9月12日以降に下記乗降場所を追加（生野エリア）

エリア	新設乗降場所	既存バス停留所	合計
追加 生野 乗降場所数	8か所	0か所	8か所
追加後 生野 乗降場所数	87か所	108か所	195か所

2. 乗降場所加除報告

2023年9月12日以降に下記乗降場所を追加（平野エリア）

乗降場所名称	エリア	加除理由
社会医療法人緑風会 緑風会病院	平野A	施設からの要望
加美西二丁目南	平野A	サービスレベル確保（300mピッチ）
加美西二丁目北	平野A	サービスレベル確保（300mピッチ）
加美鞍作二丁目南	平野A	サービスレベル確保（300mピッチ）
長吉川辺南	平野B	サービスレベル確保（300mピッチ）
坪田医院	平野A/B共通	施設からの要望
喜連五丁目北	平野A/B共通	サービスレベル確保（300mピッチ）

2. 乗降場所加除報告

2023年9月12日以降に下記乗降場所を追加（平野エリア）

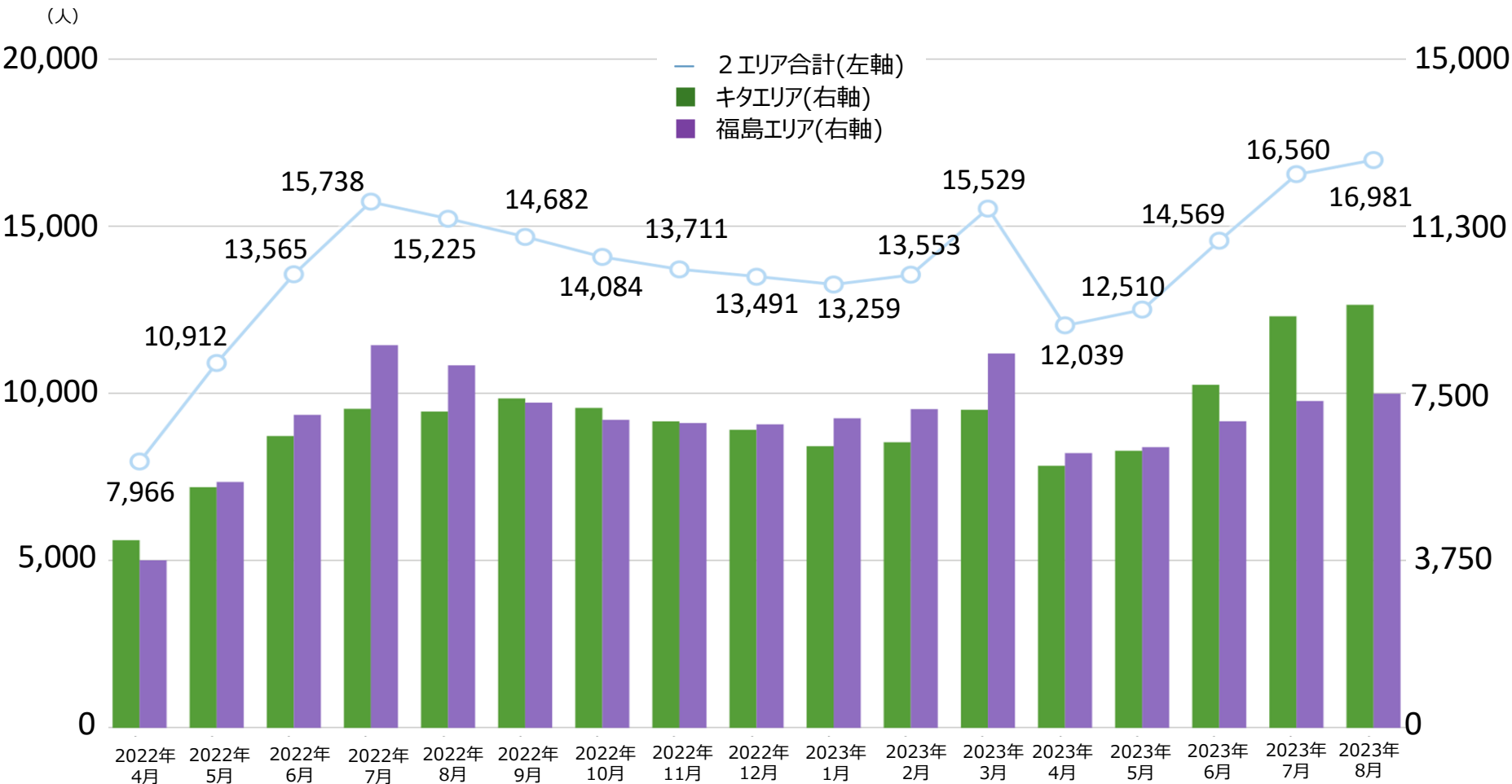
エリア	新設乗降場所	既存バス停留所	合計
平野A 追加 乗降場所数	6か所	0か所	6か所
平野B 追加 乗降場所数	3か所	0か所	3か所
追加後 平野A 乗降場所数	119か所 (うち共通49か所)	116か所 (うち共通53か所)	235か所 (うち共通102か所)
追加後 平野B 乗降場所数	111か所 (うち共通49か所)	115か所 (うち共通53か所)	226か所 (うち共通102か所)

3. 令和5年度社会実験 中間報告

《利用状況データ》 1. 月別利用者数（キタ・福島）

※2022年4月1日～2023年8月31日ご利用分集計

■ 2022年度以降、延べ約234,000人(2022年4月1日～2023年8月31日)のご利用



車いす利用者数
(2エリア計)

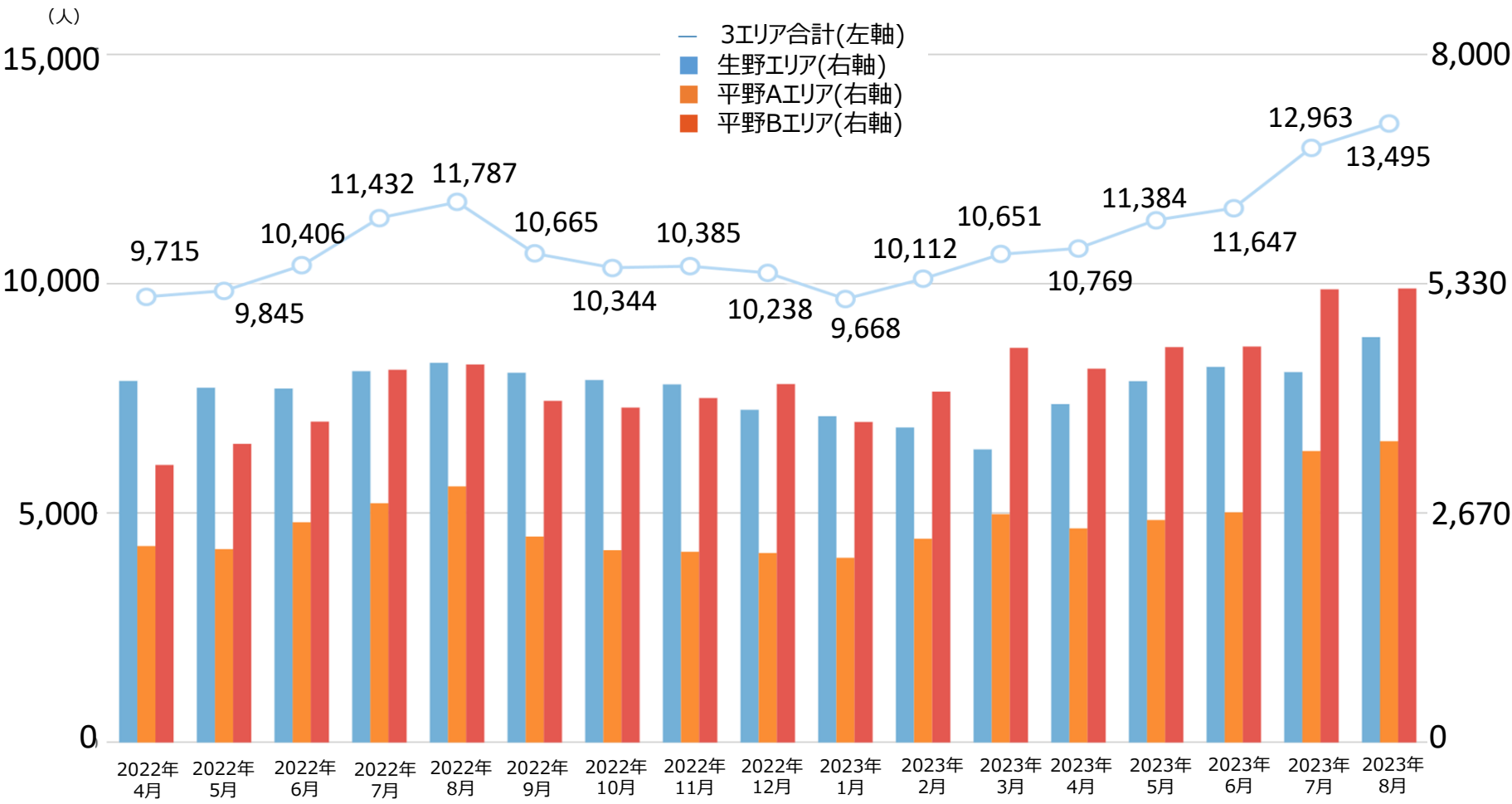
51 人	51 人	35 人	38 人	42 人	33 人	50 人	39 人	53 人	31 人	47 人	44 人	32 人	27 人	30 人	23 人	34 人
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

3. 令和5年度社会実験 中間報告

《利用状況データ》 1. 月別利用者数（生野・平野）

※2022年4月1日～2023年8月31日ご利用分集計

■ 2022年度以降、延べ約185,000人(2022年4月1日～2023年8月31日)のご利用



車いす利用者数
(3エリア計)

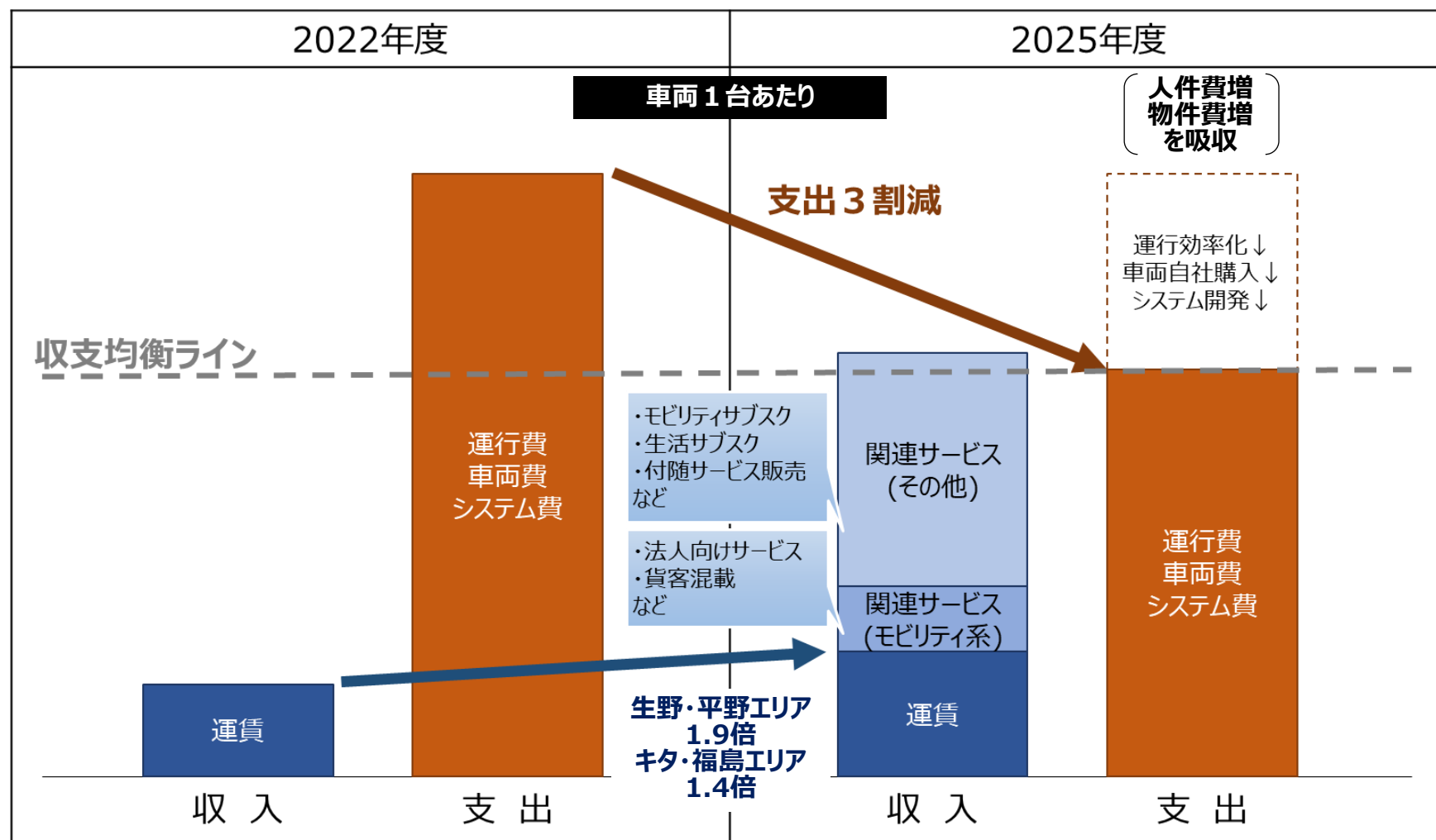
65人	47人	75人	64人	73人	66人	37人	33人	69人	75人	93人	62人	97人	111人	76人	132人	166人
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	------	------

4. 事業継続に向けた目指すべき姿

- (1) ビジネスモデル
- (2) 目標設定
- (3) 2023年8月末時点達成状況
- (4) 今後の取組み
- (5) 運転士の確保について

4. 事業継続に向けた目指すべき姿_(1) ビジネスモデル

オンデマンドバスの事業収支は、運賃収入と運賃収入以外の関連サービスにより収益化を目指すとともに、都市型MaaS構想の推進により、鉄道、路線バス、都市開発及びマーケティングなどのその他事業との相乗効果を発揮しながら利益を確保していく
基本的にはエリア単体での収支確保を目指しつつ、運行エリア全体で補完していく



4. 事業継続に向けた目指すべき姿_(2) 目標設定①

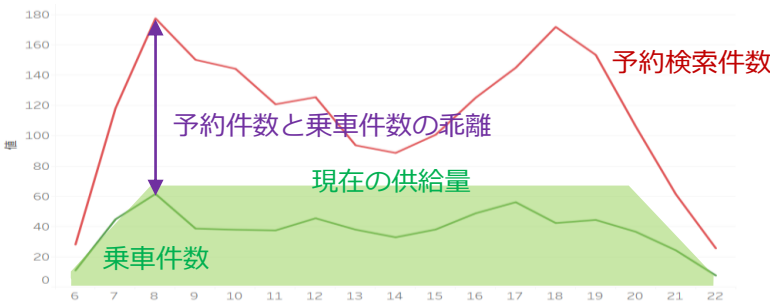
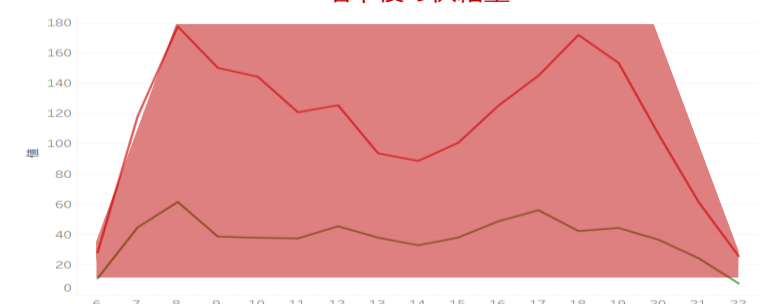
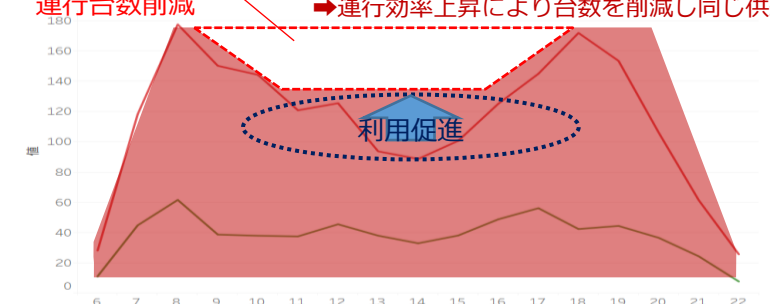
2025年度の収支均衡に向け、①運賃収入、②運行コスト、③関連サービスを目標として設定
①運賃収入については、お客さまの需要（市場規模）の拡大が継続している状態を目標とし、
2023年度上期においては、総利用者数2022年度比+ 5 %に設定
2024年度以降は、配車システムの改修及び車両の最適配置化により運行効率を向上させる

①運賃収入（利用者数）：2023年度上期において、総利用者数2022年度比 5 %増

	2022年度	2023年度 上期	2023年度 下期	2024年度	2025年度
取組み	・エリア拡大 ・サービス改善 ・利用促進	・増車による利用拡大 課題：運転士確保 ・自社配車システム導入(生野・平野エリア)	・増車による利用拡大 課題：運転士確保 ・自社配車システム導入(キタ・福島エリア)	・増車による利用拡大 ・配車システムの改修 及び車両の最適配置 化による運行効率向上	・配車システムの改修 及び車両の最適配置 化による運行効率の 更なる向上
目標 2023年度 総利用者数	2022年度 北区・福島区 443人/日 生野区・平野区 343人/日 100	2023年 8月 北区・福島区 564人/日(127) 生野区・平野区 448人/日(131) 105	110	—	—
2024年度以降 利用者数 1台あたり	100	—	—	北区・福島区 120 生野区・平野区 140	北区・福島区 140 生野区・平野区 190
2022年度を 100 ※1台あたりの イメージ図	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数

4. 事業継続に向けた目指すべき姿_ (2) 目標設定①【参考】

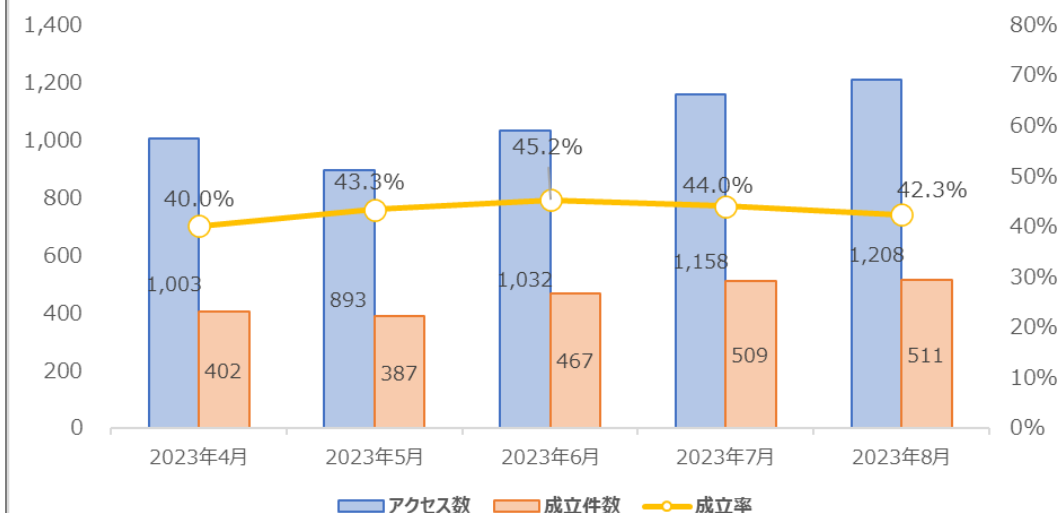
■利用者数拡大と運行効率化のステップ

年度	時間帯別利用状況	状況・対応
2022	 予約検索件数 予約件数と乗車件数の乖離 現在の供給量 乗車件数	予約検索件数に対し乗車件数が少なく（需要量に対して供給量が少ない）、<u>オンデマンドバスに乗りたくても乗車できない状況</u>
2023	 増車後の供給量	<u>運行車両台数を増やし</u>、少しでも多くのお客さまにオンデマンドバスを体験していただき、<u>新規需要及び継続需要の増加に繋げる</u>（予約検索数と乗車件数の乖離を減らしていく）
2024～2025	 最大供給量に到達しない場合 運行台数削減 増車後の供給量 →運行効率上昇により台数を削減し同じ供給量を確保 利用促進	- 増車により昼間時間帯は供給過多となるため、<u>利用促進により予約検索件数の増加に取り組む</u> - あわせて、<u>配車システムの改修及び車両の最適配置化により、運行効率の上昇</u>（1台当たりの乗車件数の増加）を行うことで、少ない運行台数で同じ供給量を確保する - 昼間時間帯の需要が最大供給量に達しない場合は、<u>運行台数の削減や関連サービスに充当する</u>

4. 事業継続に向けた目指すべき姿_ (2) 目標設定①【参考】

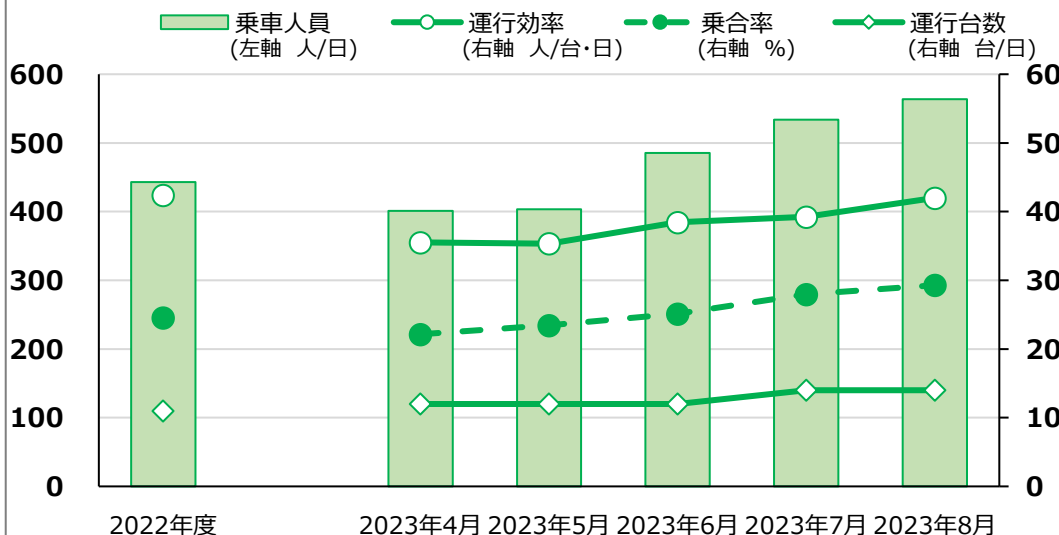
■ 2023年4月以降の利用状況（北区・福島区）

【アクセス件数と予約成立率】



- アクセス件数、成立件数とも増加傾向
- 一方、予約成立率は40%前半
- 需要として、現状利用者数の2倍強存在

【利用状況】



- 供給量増加(増車)に伴い利用者数も増加
- 増車後も運行効率・乗合率が向上
- 今後、増車により利用者数を拡大することで、運行効率・乗合率の向上も実現

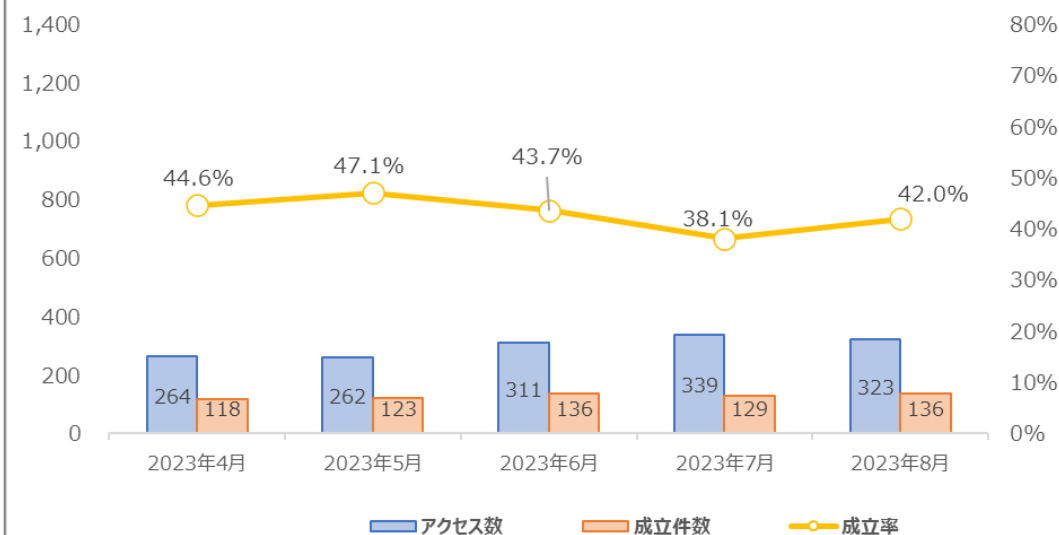
※運行効率：車両1台あたりの利用者数

- 運行台数は月初時点の平日の台数
- 運休等による特異日は除外

4. 事業継続に向けた目指すべき姿_ (2) 目標設定①【参考】

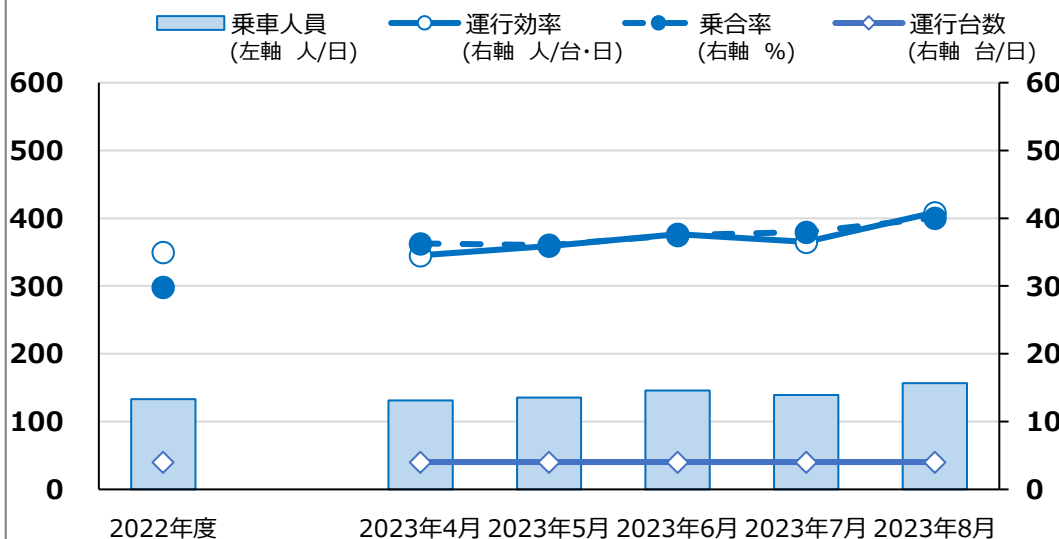
■ 2023年4月以降の利用状況（生野区）

【アクセス件数と予約成立率】



- アクセス件数、成立件数とも増加傾向
- 一方、予約成立率は40%前後
- 需要として、現状利用者数の2倍強存在

【利用状況】



- 運行台数は変化なし
- 配車システム変更後(2023年4月以降)、運行効率・乗合率が向上
- 今後、自社配車システム導入により運行効率が向上することで、利用者数・乗合率の向上も実現

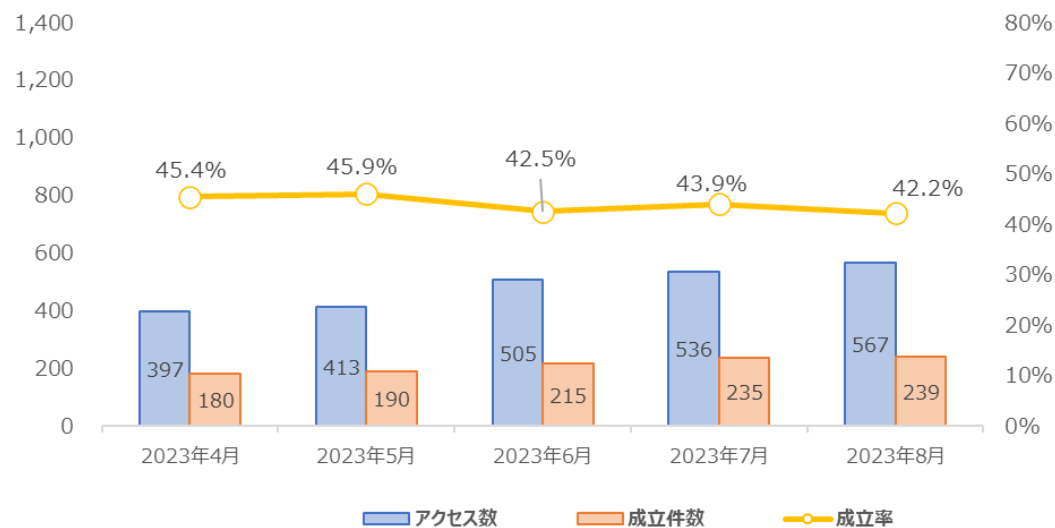
※運行効率：車両1台あたりの利用者数

- 運行台数は月初時点の平日の台数
- 運休等による特異日は除外

4. 事業継続に向けた目指すべき姿_ (2) 目標設定①【参考】

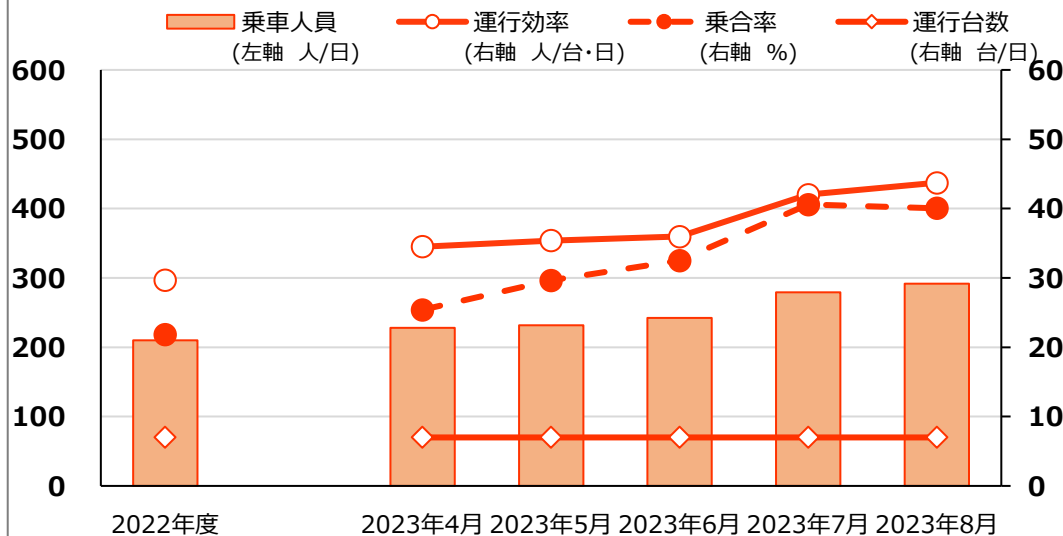
■ 2023年4月以降の利用状況（平野区）

【アクセス件数と予約成立率】



- アクセス件数、成立件数とも増加傾向
- 一方、予約成立率は40%前半
- 需要として、現状利用者数の2倍強存在

【利用状況】



- 運行台数は変化なし
- 配車システム変更後(2023年7月以降)、運行効率・乗合率が向上
- 今後、自社配車システム導入により運行効率が向上することで、利用者数・乗合率の向上も実現

※運行効率：車両1台あたりの利用者数

- 運行台数は月初時点の平日の台数
- 運休等による特異日は除外

4. 事業継続に向けた目指すべき姿_ (2) 目標設定②

2025年度の収支均衡に向け、①運賃収入、②運行コスト、③関連サービスを目標として設定
②運行コストについては、2025年度の3割削減に向けて段階的に進めていくこととし、
 2023年度上期においては、**自社配車システム導入（生野・平野エリア）**を実施する

②運行コスト（自社配車システム導入）：2023年度上期から随時実施

	2022年度	2023年度 上期	2023年度 下期	2024年度	2025年度
取組み	- 他社配車システム利用 - 車両リース	自社配車システム導入(生野・平野エリア) 自社配車システム導入 2023年3月 生野エリア 2023年6月 平野エリア	自社配車システム導入(キタ・福島エリア)	- 配車システム改修による運行効率化 - 車両自社購入	- 需要に応じた配車 - 車両自社購入
目標 運行コスト 1台あたり 2022年度 を100	100 運行費 車両費 システム費	98 運行費 車両費 システム費	95 運行費 車両費 システム費	80 運行費 車両費 システム費	人件費増 物件費増 を吸収 70 運行費 車両費 システム費

4. 事業継続に向けた目指すべき姿_ (2) 目標設定③

2025年度の収支均衡に向け、①運賃収入、②運行コスト、③関連サービスを目標として設定
③関連サービスについては、企業・法人との連携の面で継続運行後の事業加速を見込んでおり、
 2023年度上期においては、ビジネス化に向け**各サービスの実証実験実施**を目標とする

③関連サービス：2023年度上期に、各サービスの社会実験を実施 (太字は実証実験開始やサービス導入済を示す)

サービス内容			2022年度	2023年度 上期	2023年度下期 ～2024年度	2025年度	収益性 (想定)
取組み	乗降場所・ネーミングライツ販売	オンデマンドバスの乗降場所及びネーミングライツ（乗降場所名の変更）の販売	・ サービス開始	・ 拡販	・ 拡販	・ 拡販	大
	法人オンデマンドサービス	法人ニーズ（営業・通勤等）に対応した移動サービスの提供	・ 実証実験（法人オンデマンドサービスのニーズと課題の確認）の実施	・ 実証実験第2弾の準備	・ 実証実験第2弾の実施 ・ 持続可能な事業化	・ 法人契約拡大(複数企業との契約)	大
	モビリティサブスク	複数のモビリティを定額で利用できるデジタルチケットを組成し提供	・ サービス検討	・ eMETROアプリでバイクシェアチケットの購入実装 ・ モビリティサブスク機能の検討	・ eMETROアプリにモビリティサブスク機能の実装	・ BtoBも含めたモビリティサブスクの利用拡大	中
	医療MaaS	病院予約システムとオンデマンドバス予約の連携や医療機関とモビリティとの連携サービス	・ サービス検討とニーズの把握	・ 病院予約システムとの連携開始(病院予約時のオンデマンドバス予約への誘導)	・ 病院予約システム連携の深化	・ 医療機関とモビリティとの連携サービスの事業化	小
	生活サブスク	大阪市内で利用できるデジタルクーポンブックをeMETROアプリで販売	・ オンデマンドバスのキタ・福島エリアにある80店舗で利用できるクーポンブックの実証実験を実施	・ 8月23日からクーポンブック第2弾の実証実験開始（340店舗以上で利用可能）	・ モビリティサブスクとの連携 ・ サービス改善	・ クーポンブックの販売拡大	中
	貨客混載・物流	オンデマンドバスシステム（車両・配車システム）を活用した物流サービス	・ 建設会社5社との実証実験（オペレーションとニーズの把握）	・ モビリティを活用した物流サービスの実証実験	・ 物流サービスの事業化検討	・ 物流サービスの事業化	小
目標			—	・ 各サービスの実証実験実施	・ 各サービスの事業化	・ 各サービスの拡販	

4. 事業継続に向けた目指すべき姿_ (3) 2023年8月末時点達成状況

2023年度8月末時点において、**2023年度上期の各項目について目標を達成**できる見込み
引き続き、各年度の目標達成に向け各種取組みを進める
なお、今後の進捗状況及び利用状況については、地域公共交通会議を通じて年1回程度報告する

項目	2023年度上期 目標	2023年8月時点 結果
①運賃収入 (利用者数)	総利用者数2022年度比5%増	2023年8月総利用者数(2022年度比) ・北区・福島区 +27% (+23%) ・生野区・平野区 +31% (+28%) () は無料乗車証を除いた場合
②運行コスト	自社配車システム導入 2023年度上期から随時実施	・自社配車システム導入(生野) 3月 ・自社配車システム導入(平野) 6月
③関連サービス	各サービスの社会実験を実施	・乗降場所・ネーミングライツ 12件追加 ・法人オンデマンドサービス 2022年度実施 ・モビリティサブスク 4月実装 ・医療MaaS 7月連携開始 ・生活サブスク 8月第2弾実施 ・貨客混載・物流 9月実施予定

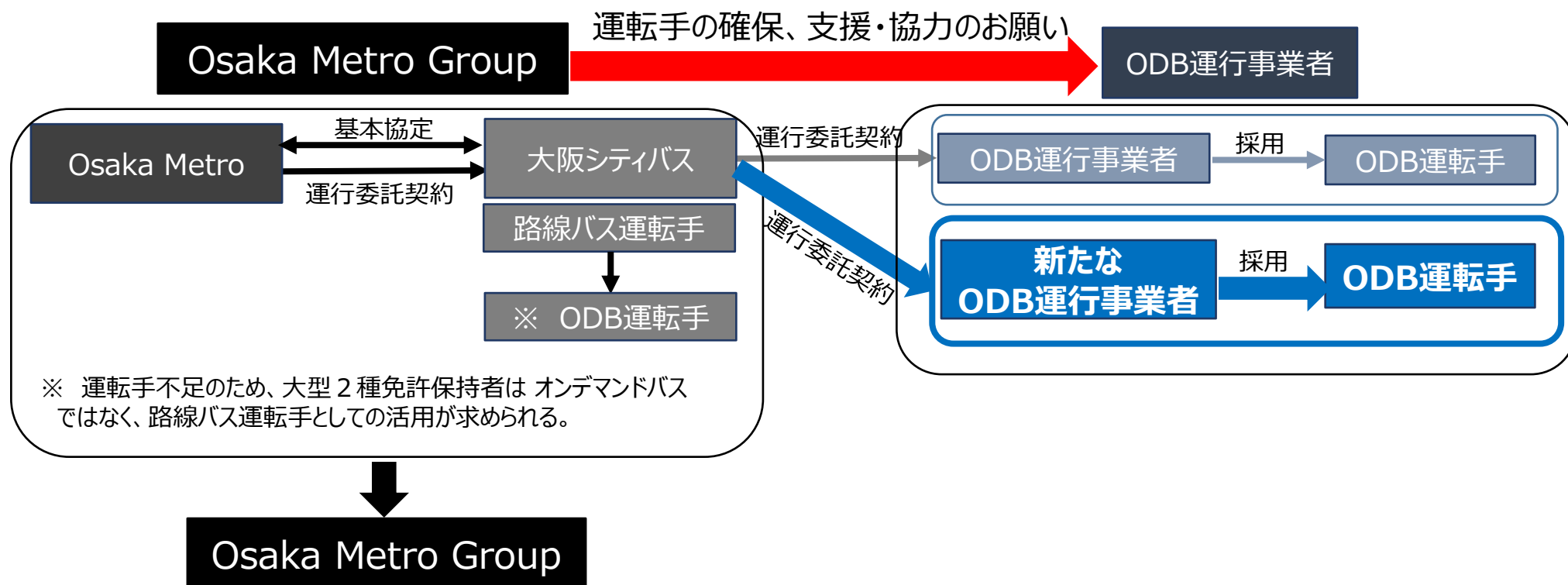
4. 事業継続に向けた目指すべき姿_今後の取り組み

【凡例】●：実施、○：着手、★：実証実験開始

分類	項目	2023年度				2024年度	2025年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q			
利用促進	地域でのオンデマンドバス説明会の実施	継続実施						
	各種キャンペーンの実施	●6月 複数人乗車	●7-8月 キッズパス	定期的に実施				
	呼出インターホン・呼出電話の設置	効果検証を実施し、必要に応じて追加設置						
サービス改善	顔認証乗車確認	生野エリアの利用状況を検証し、順次他エリアへ拡大						
	Osaka Pointとの連携	●4月 ポイント利用可	ポイントサービス検討					
運行効率の改善	運行車両増車	継続実施						
	車両最適配置化	継続実施						
	自社配車システム（段階的開発・導入）	●3月 生野エリア	●6月 平野エリア	●9月 キタ・福島エリア	3月● 配車エンジン改修	システム改修		
関連サービス	乗降場所・ネーミングライツ販売	拡販						
	法人オンデマンドサービス	第2弾実施に向けた準備				実施	事業化	契約拡大
	モビリティサブスク	★4月 シェアサイクル連携	サブスク機能検討			サブスク機能実装		利用拡大
	医療MaaS	検討	★7月 病院予約システムとの連携			システム連携深化		事業化
	生活サブスク	第2弾検討		第2弾実施			サービス改善	販売拡大
	貨客混載・物流			★ 物流サービスの実証実験		事業化検討	事業化	

4. 事業継続に向けた目指すべき姿_運転士の確保について

オンデマンドバス事業継続の重要課題の一つである運転士の確保について、引き続き運行事業者様にご支援とご協力をお願いするとともに、Osaka Metro Groupとしてオンデマンドバス専属運転手の採用を進めることで、必要な運行車両を確保



新たにODB専属の 運転手採用

- 働き手（若者（新卒者）、子育て世代、シニア世代）の就職観に見合った労働環境（給与、勤務形態、勤務時間など）の整備、採用にするP R活動など、柔軟に対応
- 地域公共交通会議での継続運行の合意のもと、可及的速やかに採用活動を開始

5. その他_オンデマンドバスが既存交通に与える影響

■路面公共交通（路線バス+タクシー）需要総量に対するオンデマンドバス影響人員の割合



6. 議案第1号 北区・福島区における事業計画(令和6年度以降)

(1) 令和5年度と令和6年度の事業計画の比較

(2) 事業内容

1. 路線概要
2. 運行態様
3. 運行車両
4. 運行時間
5. 予約方法
6. 運賃設定
7. その他運賃制度
- 8-1. AIオンデマンドシステムの概要
- 8-2. AIオンデマンドシステムの予約・決済
9. 営業区域
- 9-1. 運送の区間
- 9-2. 乗降場所（集計表）
- 9-3. 乗降場所（ステッカー貼付イメージ）

(1) 令和5年度と令和6年度の事業計画の比較

キ タ エ リ ア ・ 福 島 エ リ ア	令和5年度		令和6年度以降
	運行車両（各エリア）		
	ワンボックス車両(通常)	乗車定員(運転席・助手席除く)：8名 台数：12台	同左
	ワンボックス車両(車いす対応車両)	乗車定員(運転席・助手席除く)：5名 台数：2台	同左
	EVボンチョ車両 (ノンステップ車いす対応車両)	乗車定員(運転席・助手席除く)：13～28名程度 台数：1台	同左
	運行時間（各エリア）		
	運行時間帯	6：00～23：00	同左
	時間帯別運行回数	1台1時間あたり最大3便運行 (1時間あたり最大45便)	同左
	運賃設定（各エリア）		
	大人	300円	同左
	小児	150円	同左
	幼児	同伴者1名につき2名まで無料 3人目から小児運賃150円	同左
	その他運賃制度		
	大人定期券(デマンド1エリア)	5,000円／月	同左
	大人定期券(デマンド2エリア)	9,000円／月	同左
	乗降場所		
	単独乗降場所	127か所	同左
	キタ・福島共通	101か所	同左
	乗降場所合計	228か所	同左
	面積当たり箇所数	22か所 / km ²	同左
	単独乗降場所	113か所	同左
	キタ・福島共通	101か所	同左
	乗降場所合計	214か所	同左
	面積当たり箇所数	22か所 / km ²	同左

(2) 事業内容

1. 路線概要

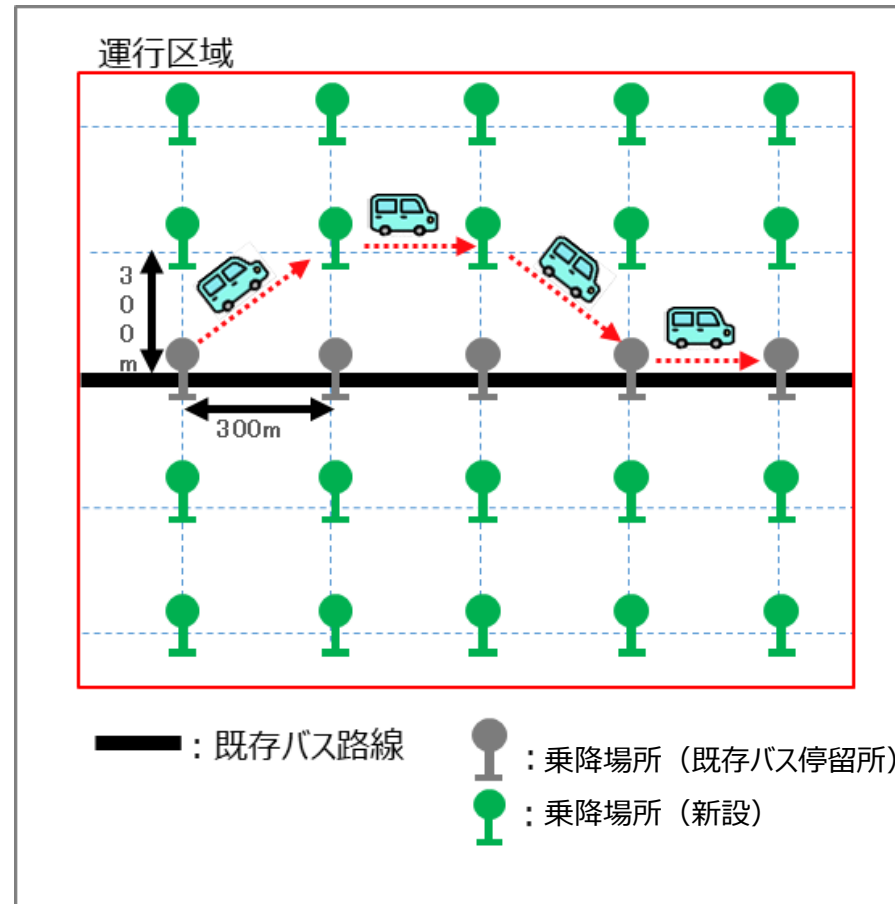
項 目	提 案 内 容
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、ファースト・ラストワンマイルを補う効率的な交通手段を提供するとともに、路線バスや他のモビリティとの連携により新規需要を創出する。
運行事業者	大阪市高速電気軌道株式会社・大阪シティバス株式会社 ※提携運行事業者が決まり次第、事務局を通じて報告
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3） 道路運送法 第4条に基づき、申請
営業区域	9. 営業区域 参照
運送の区間	9-1. 運送の区間 参照
利用種別	エリア内移動を前提に自由経路型デマンド運行を実施。
運行経路	予約に基づきシステムが自動生成した経路を運行 （AIオンデマンド型交通）
運行開始時期	2024年4月1日

2. 運行態様

概要：各エリアとも道路運送法施行規則第3条の3に基づく自由経路型の「区域運行」。

設定した区域内に停留所を設置し、運行ルートは定めず自由経路で運行する方式となる。

各エリアとも第4条に基づき新規路線の許認可を申請する計画。



(2) 事業内容

3. 運行車両

使用車両		車両数 (最大)
各 エリア	ワンボックス車両《通常車両》（乗車定員（運転席・助手席除く） 8 名）	12台
	ワンボックス車両《車いす対応車両》（乗車定員（運転席・助手席除く） 5 名）	2台
	EVポンチョ車両《ノンステップ車いす対応車両》 （乗車定員（運転席・助手席除く）13～28名程度）	1台

予備車（ワンボックス車両《通常車両》）2台

予備車（ワンボックス車両《車いす対応車両》）1台

予備車（ポンチョ車両《車いす対応車両》）1台

※生野区、平野区、キタ、福島兼用

※需要を踏まえ、時間帯別に運行車両台数は変動予定

(2) 事業内容

4. 運行時間

運行時間帯
時間帯別運行回数

: 6:00～23:00
: 1台1時間あたり最大3便運行
(各エリア1時間あたり最大45便)

5. 予約方法

予約方法
予約・受付

: アプリ・WEBまたは電話
: アプリ・WEB: 0:00～22:00
電話予約: 7:00～17:00



6. 運賃設定

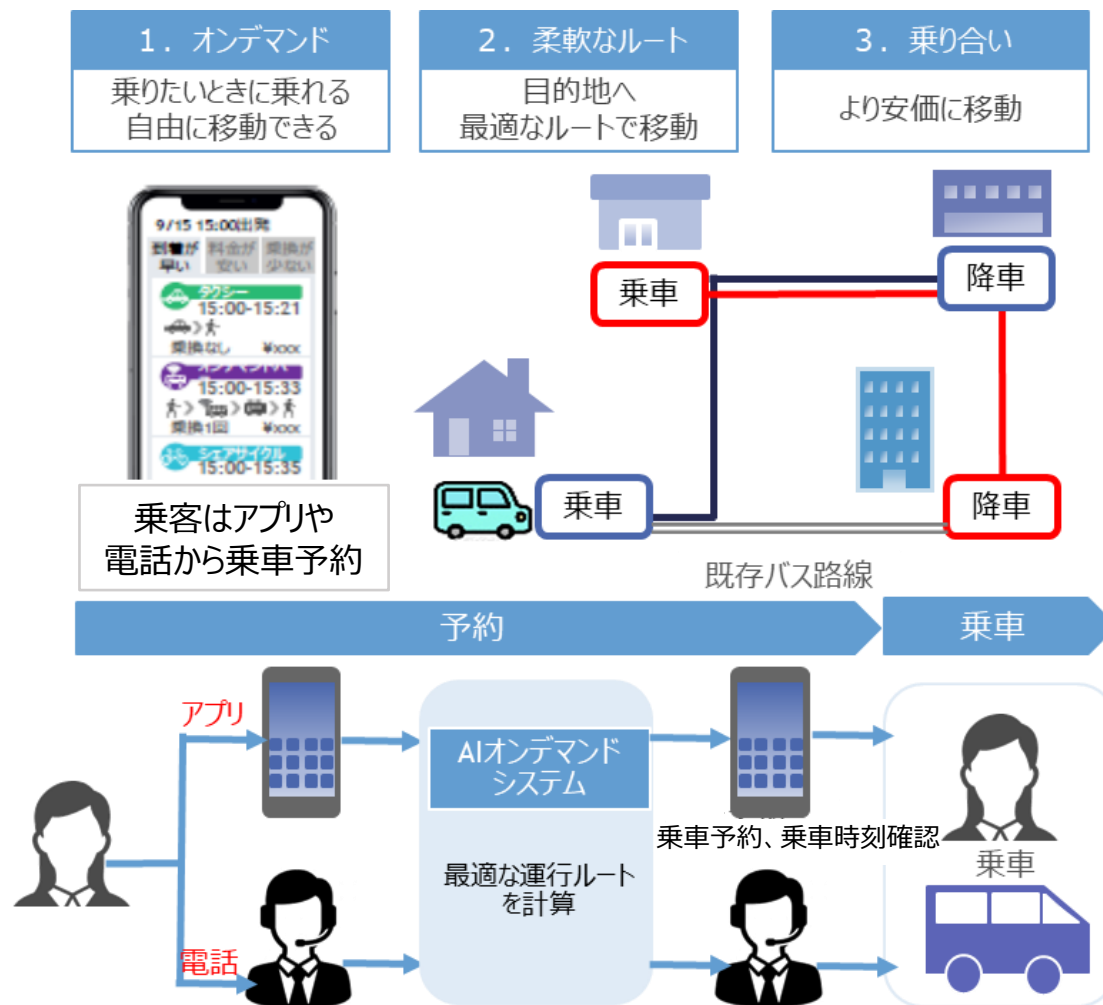
種類			額および適用方法
運賃	大人		300 円
	小児		150 円
	幼児		同伴者1名につき2名まで無料 3人目から小児運賃150 円
	特別割引※	大人	150円
		小児	80円
お支払い	現金		乗車時
	クレジットカード		乗車時にアプリを 通じてお支払い

※身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第1種または第2種）により、運賃を割引します。児童福祉法に定める被保護者の方は、一般乗合旅客自動車運賃割引証明書により運賃を割引します。

7. その他運賃制度（割引等）

乗車券の種類		概要
オンデマンドバス 専用定期券 (デジタル)	大人定期券	1ヵ月 5,000円（税込）/1エリア（エリア毎） 1ヵ月 9,000円（税込）/2エリア共通 ※1エリア（キタ/福島エリアのいずれか1エリア） ※2エリア共通（キタ/福島エリアの2エリア）

8-1. A I オンデマンドシステムの概要

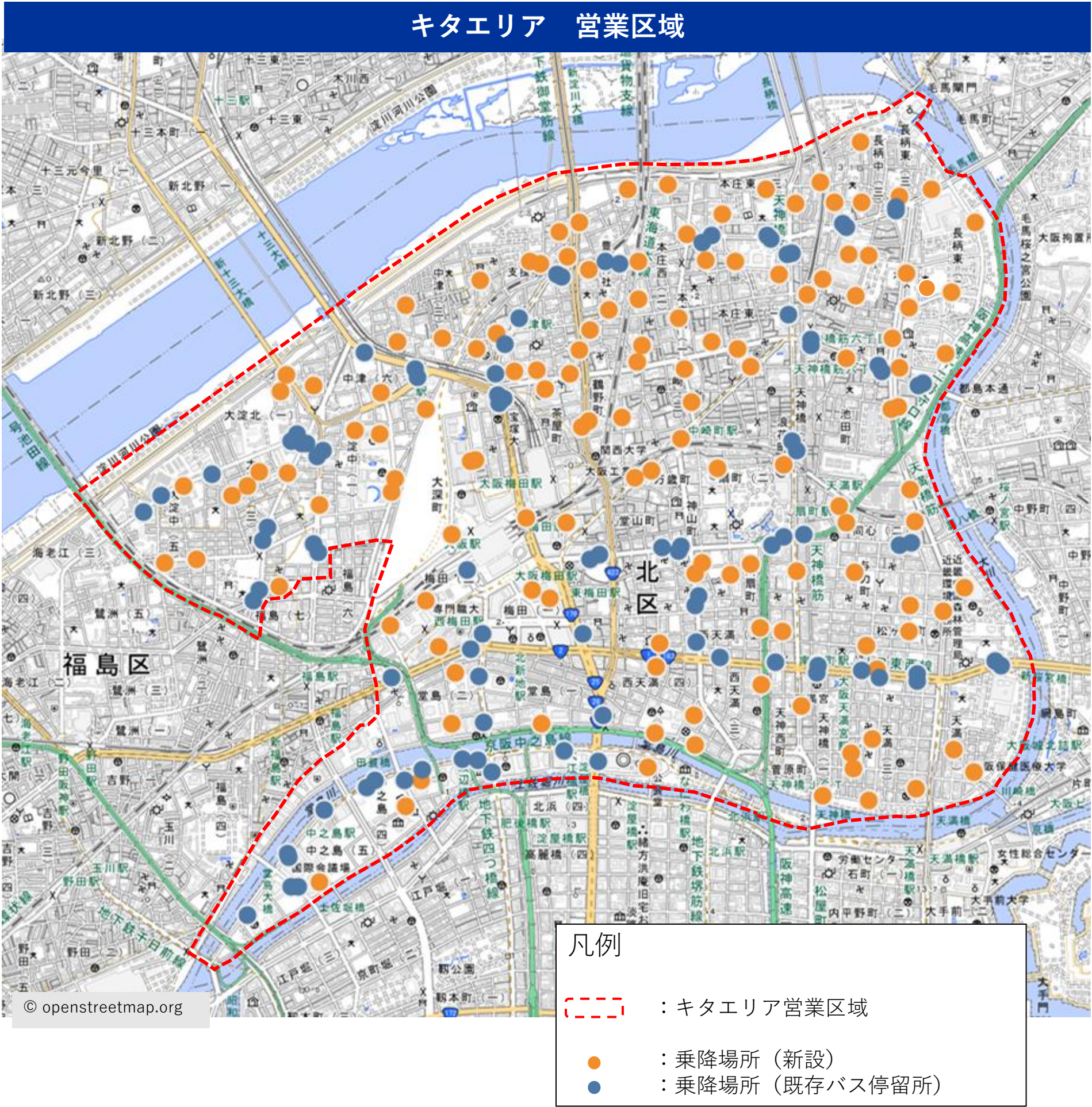


(2) 事業内容

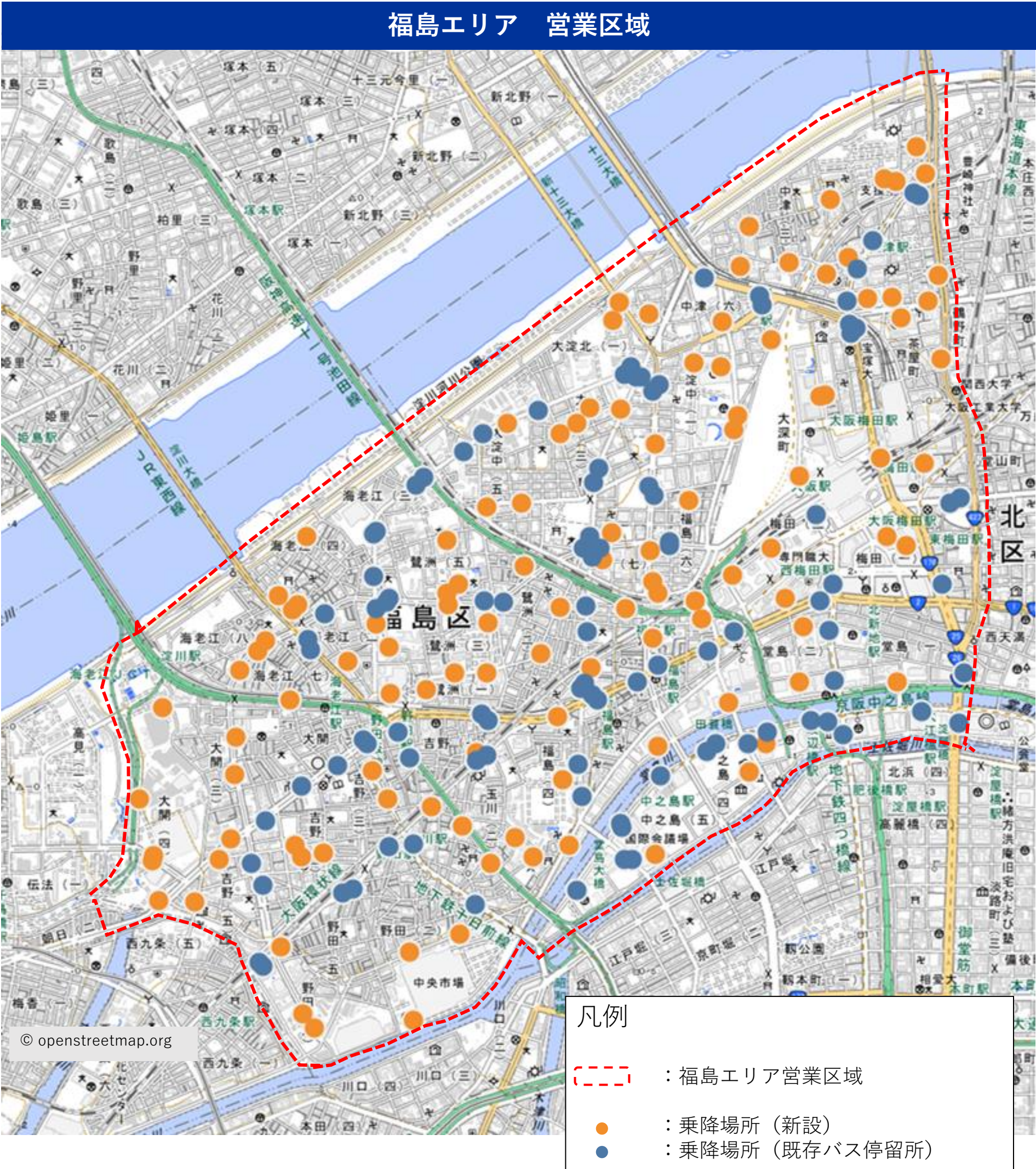
8-2. A | オンデマンドシステムの予約・決済



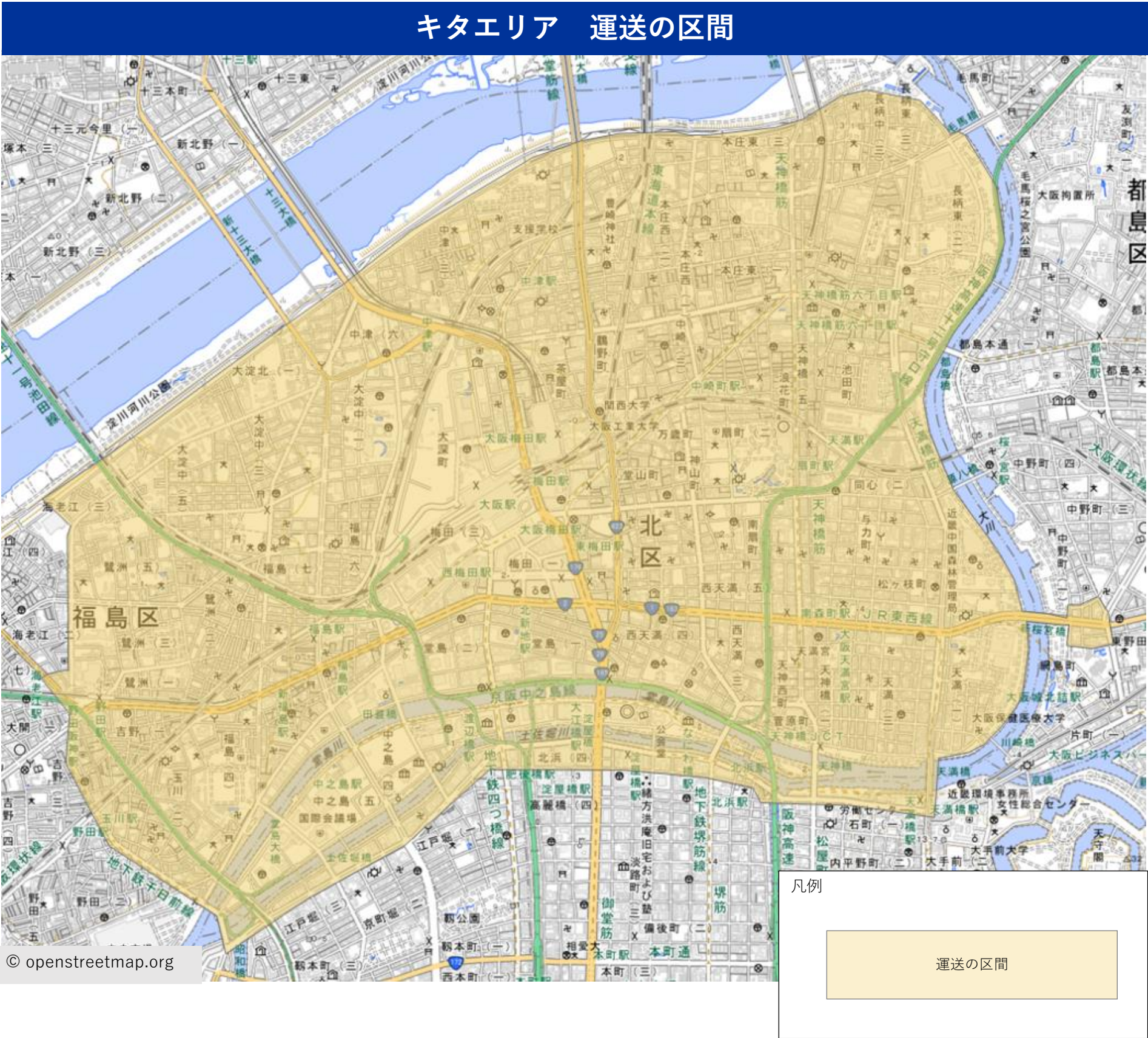
9. 営業区域(キタエリア)



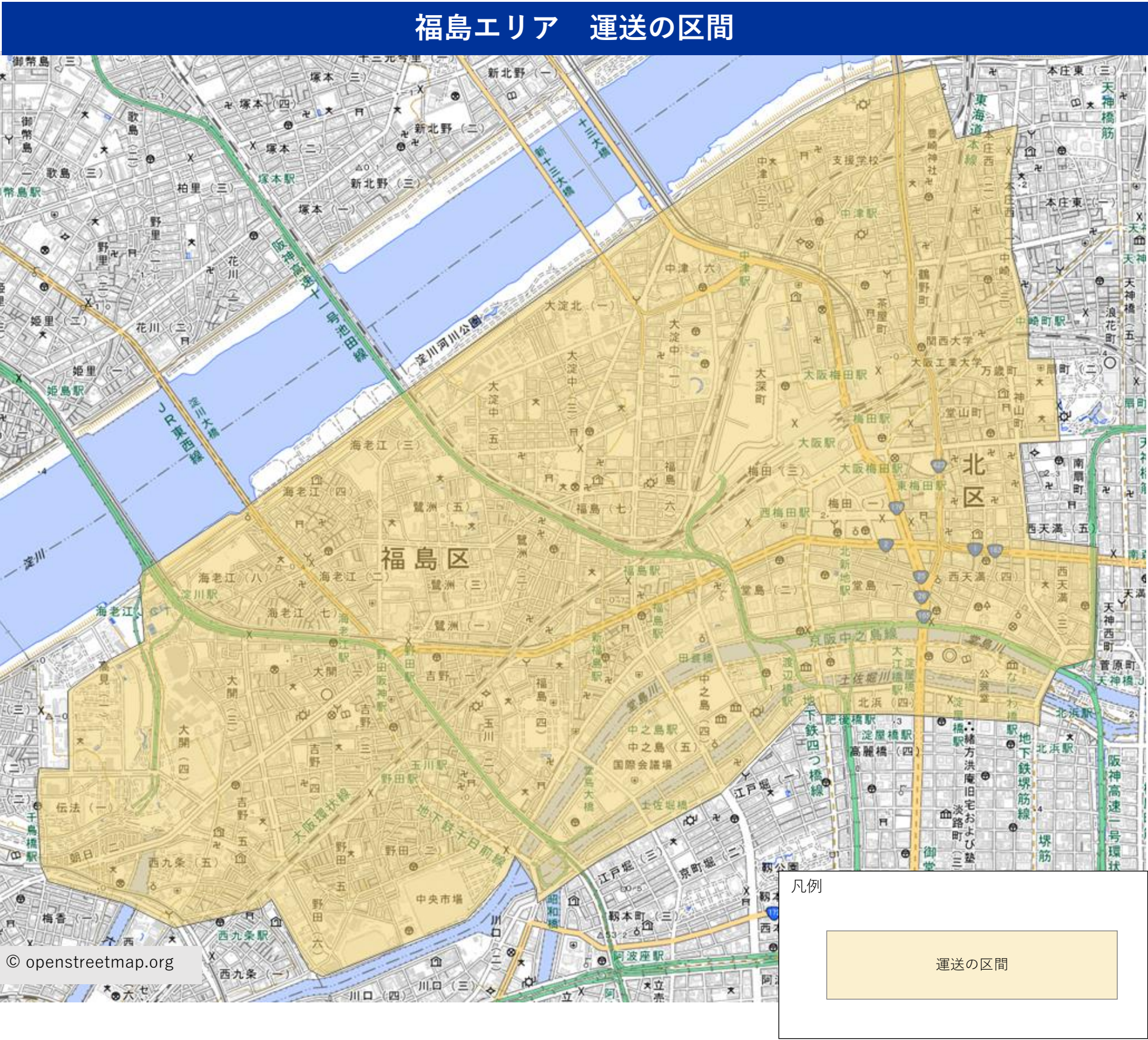
9. 営業区域(福島エリア)



9ー1. 運送の区間(キタエリア)



9－1. 運送の区間(福島エリア)



(2) 事業内容

9-2. 乗降場所（集計表）

エリア	乗降場所（新設）	乗降場所 （既存バス停留所）	計
キタエリア 計	134箇所	94箇所	228箇所
福島エリア 計	113箇所	101箇所	214箇所
うち キタ・福島 （共通）	49箇所	52箇所	101箇所
総計	198箇所	143箇所	341箇所

9-3. 乗降場所（バーチャルイメージ）

「現地に乗降場所の明示物を設置せず
アプリ内の写真のみで明示する」

7. 議案第2号 生野区・平野区における事業計画(令和6年度以降)

(1) 令和5年度と令和6年度の事業計画の比較

(2) 事業内容

1. 路線概要
2. 運行態様
3. 運行車両
4. 運行時間
5. 予約方法
6. 運賃設定
7. その他運賃制度
- 8-1. AIオンデマンドシステムの概要
- 8-2. AIオンデマンドシステムの予約・決済
9. 営業区域
- 9-1. 運送の区間
- 9-2. 乗降場所（集計表）
- 9-3. 乗降場所（ステッカー貼付イメージ、バーチャルイメージ）

(1) 令和5年度と令和6年度の事業計画の比較

生 野 区	令和5年度		令和6年度以降
	運行車両		
	ワンボックス車両(通常)	乗車定員(運転席・助手席除く)：8名 台数：7台	同左
	ワンボックス車両(車いす対応車両)	乗車定員(運転席・助手席除く)：5名 台数：2台	同左
	EVポンチョ車両 (ノンステップ車いす対応車両)	乗車定員(運転席・助手席除く)：13～28名程度 台数：1台	同左
	運行時間		
	運行時間帯	6：00～23：00	同左
	時間帯別運行回数	1台1時間あたり最大3便運行 (1時間あたり最大30便)	同左
	運賃設定		
	大人	210円	同左
	小児	110円	同左
	幼児	同伴者1名につき2名まで無料 3人目から小児運賃110円	同左
	その他運賃制度		
	大人定期券(デマンド1エリア)	5,000円/月	同左
	大人定期券(デマンド2エリア)	9,000円/月	同左
	オンデマンドバス・OCB路線バス 連絡定期券(バス全線)	既存バス全線定期券＋1,500円 /月	同左
	オンデマンドバス・OCB路線 バス共通1日券	バス1日券＋100円	同左
	オンデマンドバス・OCB路線バス 共通回数券11回分	大人 2,000円	同左
	乗降場所		
	単独乗降場所	195か所	同左
	面積当たり箇所数	22か所 / km ²	同左

(1) 令和5年度と令和6年度の事業計画の比較

平野区 A・B	令和5年度		令和6年度以降
	運行車両（各エリア）		
	ワンボックス車両（通常）	乗車定員（運転席・助手席除く）：8名 台数：7台	同左
	ワンボックス車両（車いす対応車両）	乗車定員（運転席・助手席除く）：5名 台数：2台	同左
	EVボンチョ車両 （ノンステップ車いす対応車両）	乗車定員（運転席・助手席除く）：13～28名程度 台数：1台	同左
	運行時間（各エリア）		
	運行時間帯	6：00～23：00	同左
	時間帯別運行回数	1台1時間あたり最大3便運行 （1時間あたり最大30便）	同左
	運賃設定（各エリア）		
	大人	210円	同左
	小児	110円	同左
	幼児	同伴者1名につき2名まで無料 3人目から小児運賃110円	同左
	その他運賃制度		
	大人定期券（デマンド1エリア）	5,000円／月	同左
	大人定期券（デマンド2エリア）	9,000円／月	同左
	オンデマンドバス・OCB路線バス 連絡定期券（バス全線）	既存バス全線定期券＋1,500円 /月	同左
	オンデマンドバス・OCB路線 バス共通1日券	バス1日券＋100円	同左
	オンデマンドバス・OCB路線バス 共通回数券11回分	大人 2,000円	同左
	乗降場所		
	平野A 単独乗降場所	133か所	同左
	平野A A・B共通乗降場所	102か所	同左
	平野A 乗降場所合計	235か所	同左
	平野A 面積当たり箇所数	26か所 / km ²	同左
	平野B 単独乗降場所	124か所	同左
	平野B A・B共通乗降場所	102か所	同左
	平野B 乗降場所合計	226か所	同左
	平野B 面積当たり箇所数	22か所 / km ²	同左

(2) 事業内容

1. 路線概要

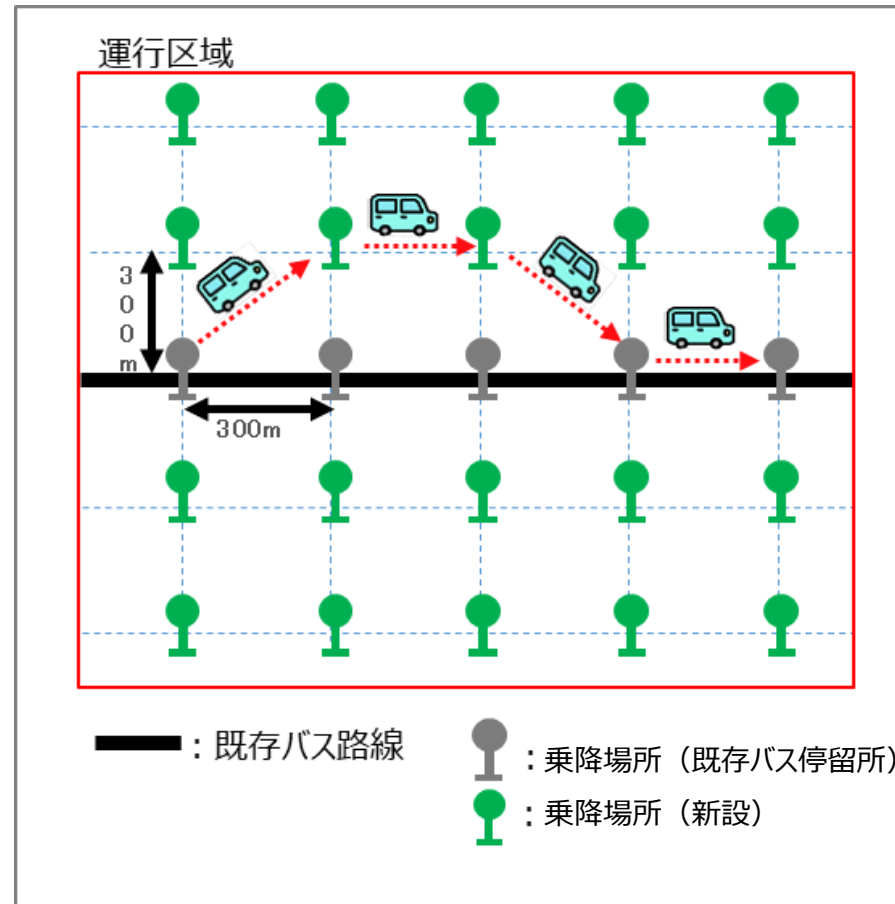
項 目	提 案 内 容
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、ファースト・ラストワンマイルを補う効率的な交通手段を提供するとともに、路線バスや他のモビリティとの連携により新規需要を創出する。
運行事業者	大阪市高速電気軌道株式会社・大阪シティバス株式会社 ※提携運行事業者が決まり次第、事務局を通じて報告
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3） 道路運送法 第4条に基づき、申請
営業区域	9. 営業区域 参照
運送の区間	9-1. 運送の区間 参照
利用種別	エリア内移動を前提に自由経路型デマンド運行を実施。
運行経路	予約に基づきシステムが自動生成した経路を運行 （AIオンデマンド型交通）
運行開始時期	2024年4月1日

2. 運行態様

概要：各エリアとも道路運送法施行規則第3条の3に基づく自由経路型の「区域運行」。

設定した区域内に停留所を設置し、運行ルートは定めず自由経路で運行する方式となる。

各エリアとも第4条に基づき新規路線の許認可を申請する計画。



(2) 事業内容

3. 運行車両

使用車両		車両数 (最大)
各 エリア	ワンボックス車両《通常車両》（乗車定員（運転席・助手席除く） 8 名）	7台
	ワンボックス車両《車いす対応車両》（乗車定員（運転席・助手席除く） 5 名）	2台
	EVポンチョ車両《ノンステップ車いす対応車両》 （乗車定員（運転席・助手席除く）13～28名程度）	1台

予備車（ワンボックス車両《通常車両》）2台

予備車（ワンボックス車両《車いす対応車両》）1台

予備車（ポンチョ車両《車いす対応車両》）1台

※生野区、平野区、キタ、福島兼用

※需要を踏まえ、時間帯別に運行車両台数は変動予定

(2) 事業内容

4. 運行時間

運行時間帯
時間帯別運行回数

: 6:00～23:00
: 1台1時間あたり最大3便運行
(各エリア1時間あたり最大30便)

5. 予約方法

予約方法
予約・受付

: アプリ・WEBまたは電話
: アプリ・WEB: 0:00～22:00
電話予約: 7:00～17:00



6. 運賃設定

種類			額および適用方法
運賃	大人		210 円
	小児		110 円
	幼児		同伴者1名につき2名まで無料 3人目から小児運賃110 円
	特別割引※	大人	110円
		小児	60円
お支払い	現金		乗車時
	クレジットカード		乗車時にアプリを 通じてお支払い

※身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第1種または第2種）により、運賃を割引します。児童福祉法に定める被保護者の方は、一般乗合旅客自動車運賃割引証明書により運賃を割引します。

(2) 事業内容

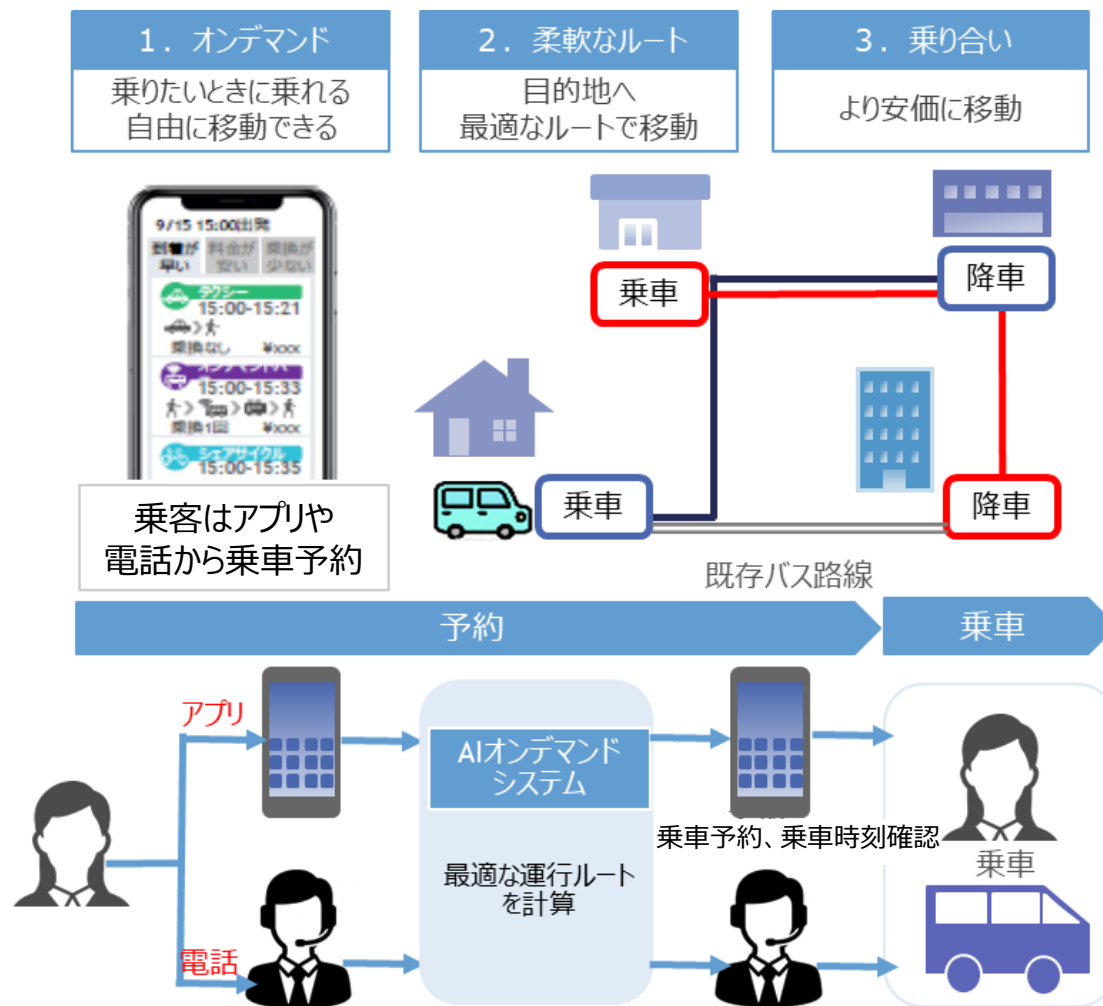
7. その他運賃制度（割引等）

乗車券の種類		概要
オンデマンドバス 専用定期券 (デジタル)	大人定期券	1ヵ月 5,000円（税込）/1エリア（エリア毎） 1ヵ月 9,000円（税込）/2エリア共通 ※1エリア（生野/平野A/平野Bエリアのいずれか1エリア） ※2エリア共通（生野/平野A/平野Bエリアのいずれか2エリア）
オンデマンドバス 一般路線バス 連絡定期 (デジタル)	大人定期券	1ヵ月 10,500円/（路線バス全線・1エリア） ※路線バスは全線利用可能（注） ※オンデマンドバスは1エリア（生野/平野A/平野Bエリアのいずれか1エリア）のみ
オンデマンドバス・ 一般路線バス共通 1日乗車券 (デジタル)		大人 600円 ※路線バスは全線利用可能（注） ※オンデマンドバスは1エリア（生野/平野A/平野Bエリアのいずれか1エリア）のみ
オンデマンドバス・ 一般路線バス共通回数券 (デジタル)		大人 2,000円（11回分） ※路線バスは全線利用可能（注） ※オンデマンドバスは1エリア（生野/平野A/平野Bエリアのいずれか1エリア）のみ

注：IKEA鶴浜行きバス、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン™行バス
及び関西国際空港行きリムジンバスでは利用できません

(2) 事業内容

8-1. AI オンデマンドシステムの概要

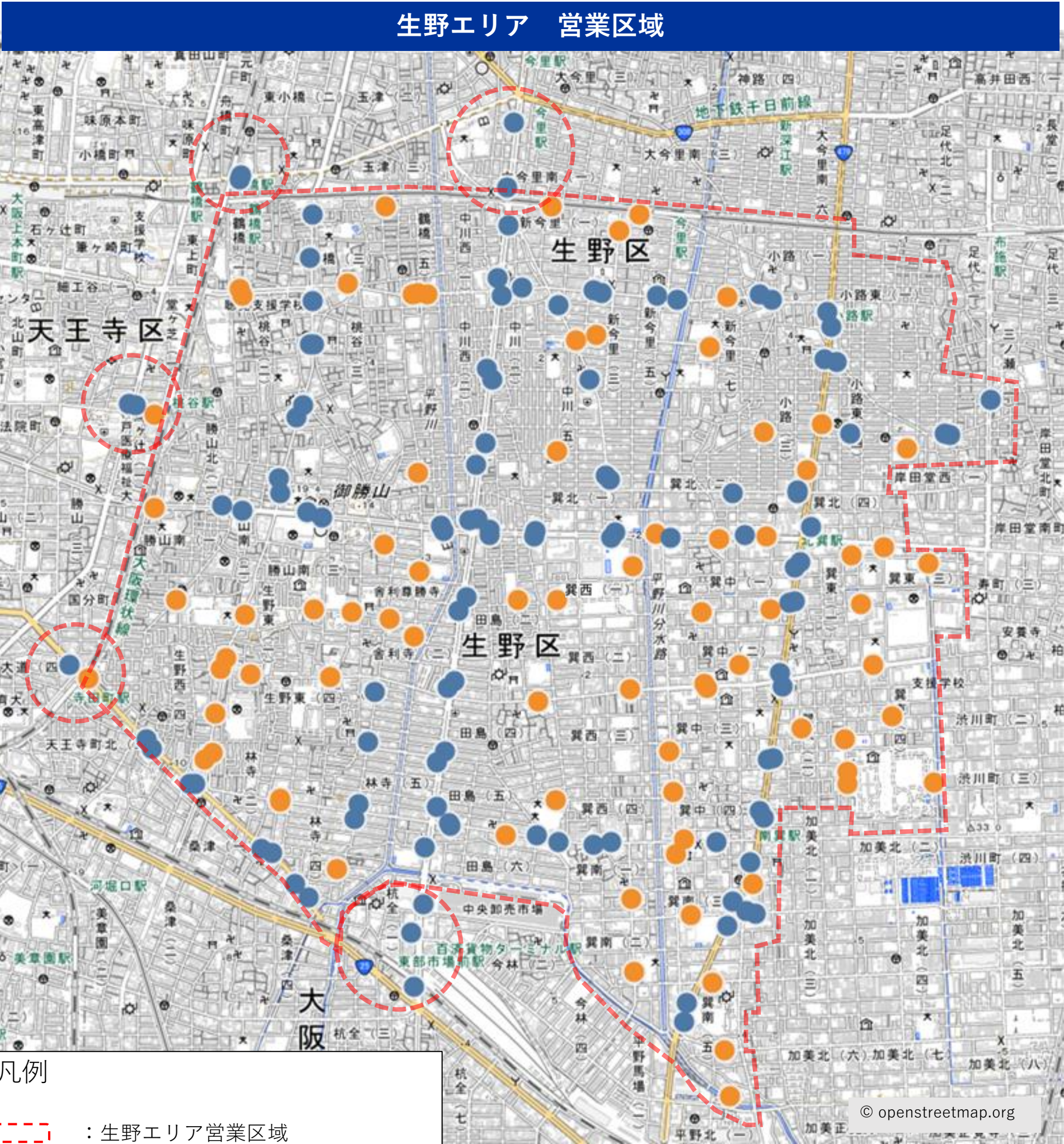


(2) 事業内容

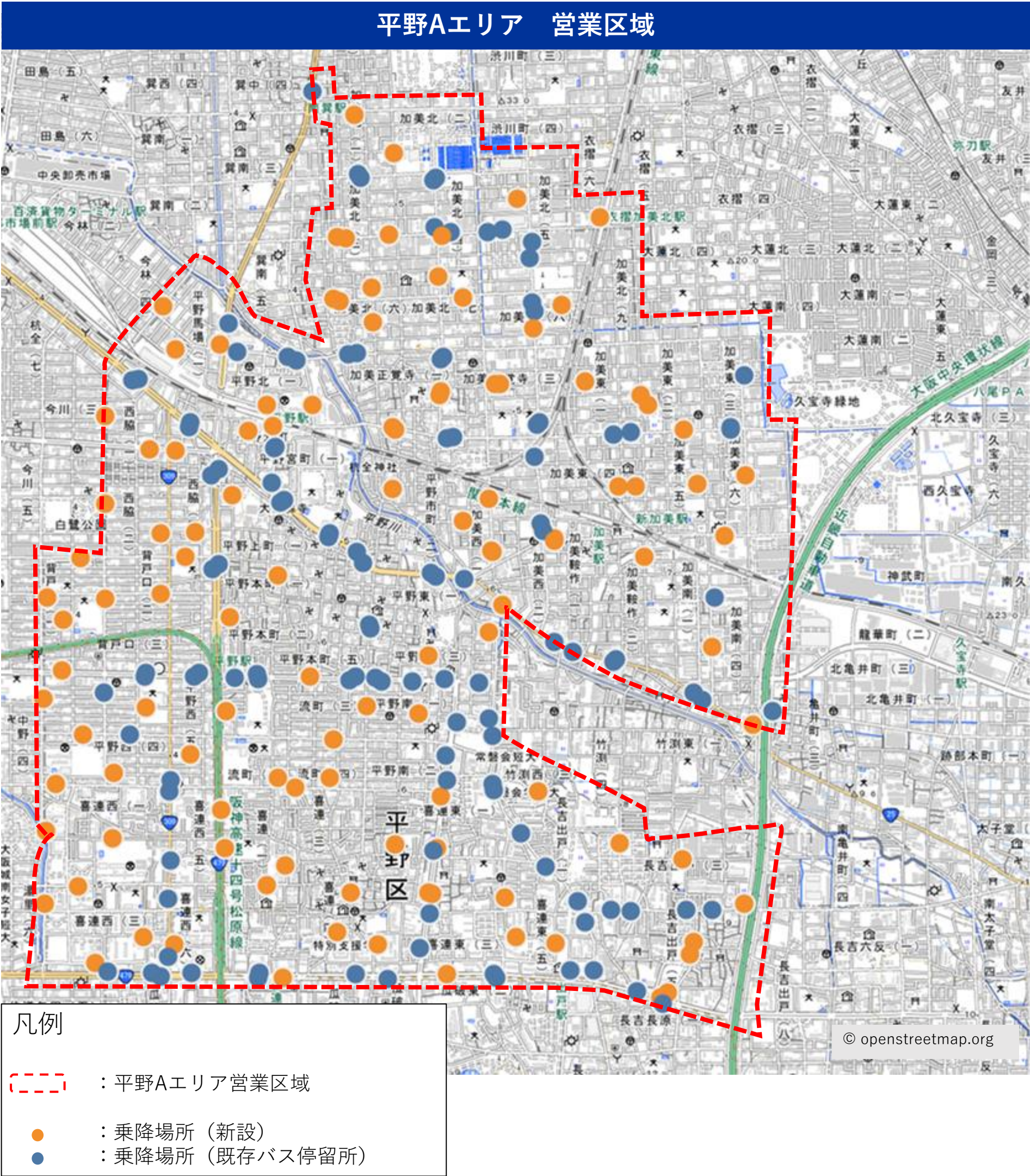
8-2. A | オンデマンドシステムの予約・決済



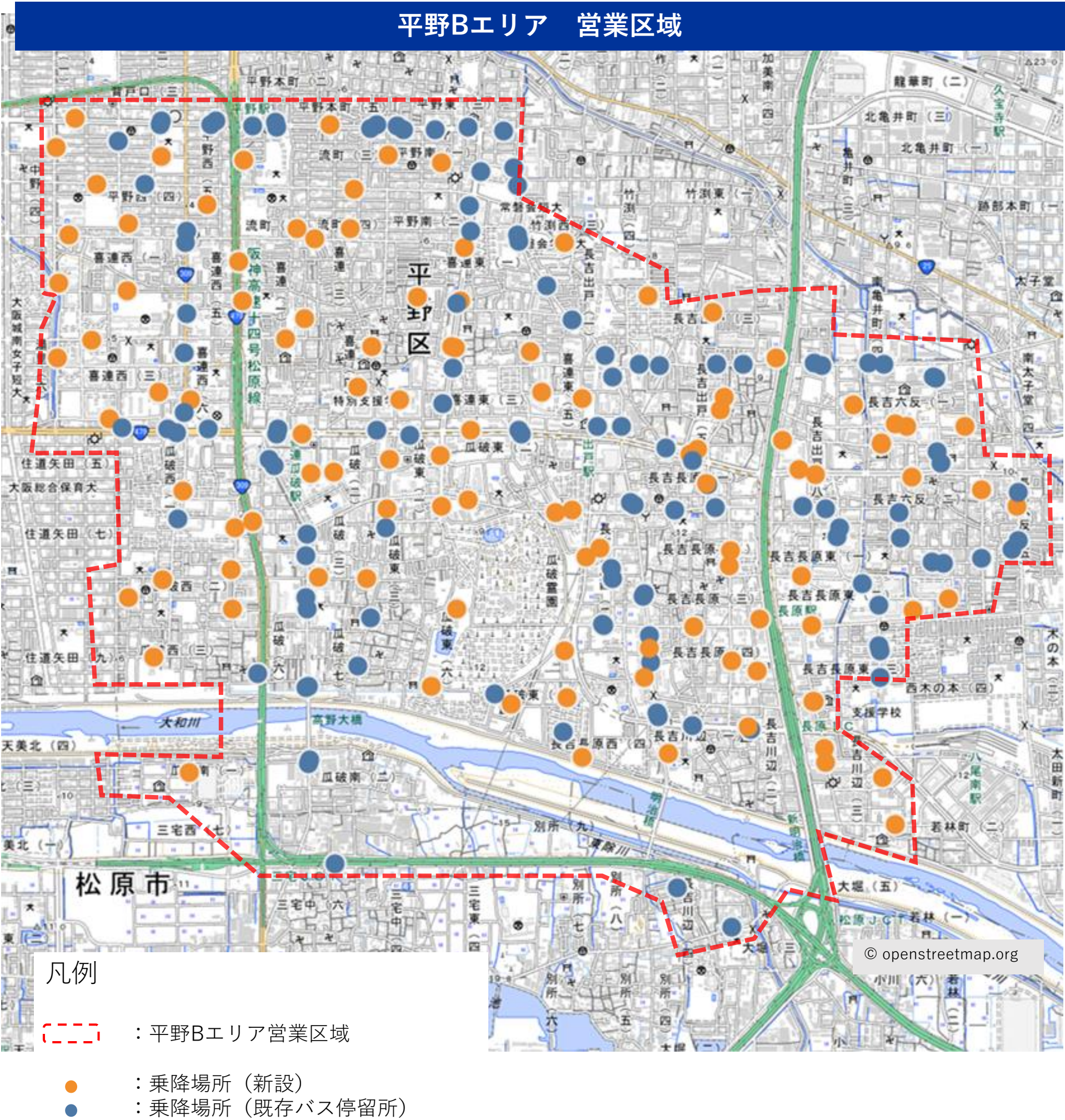
9. 営業区域(生野エリア)



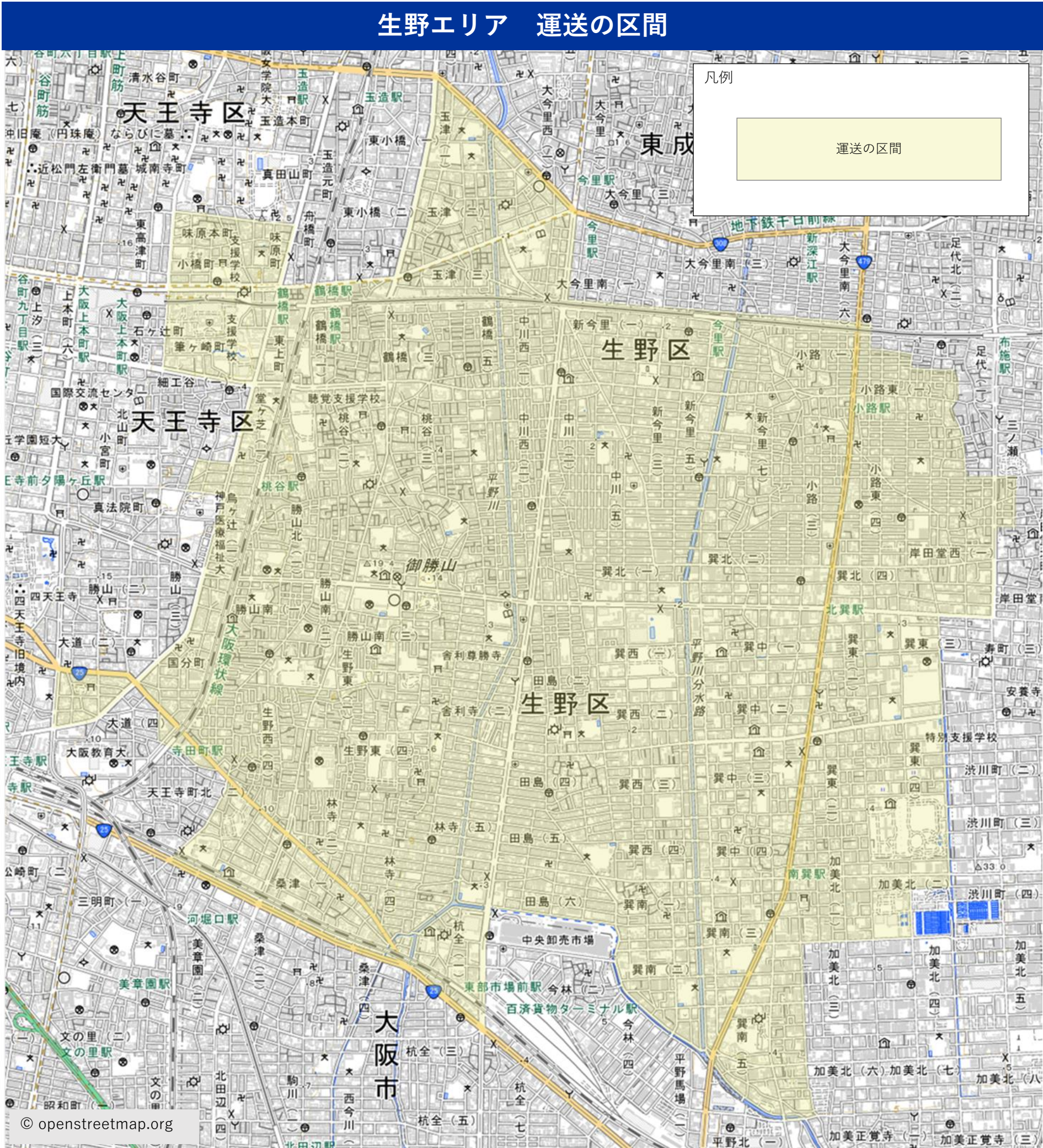
9. 営業区域(平野Aエリア)



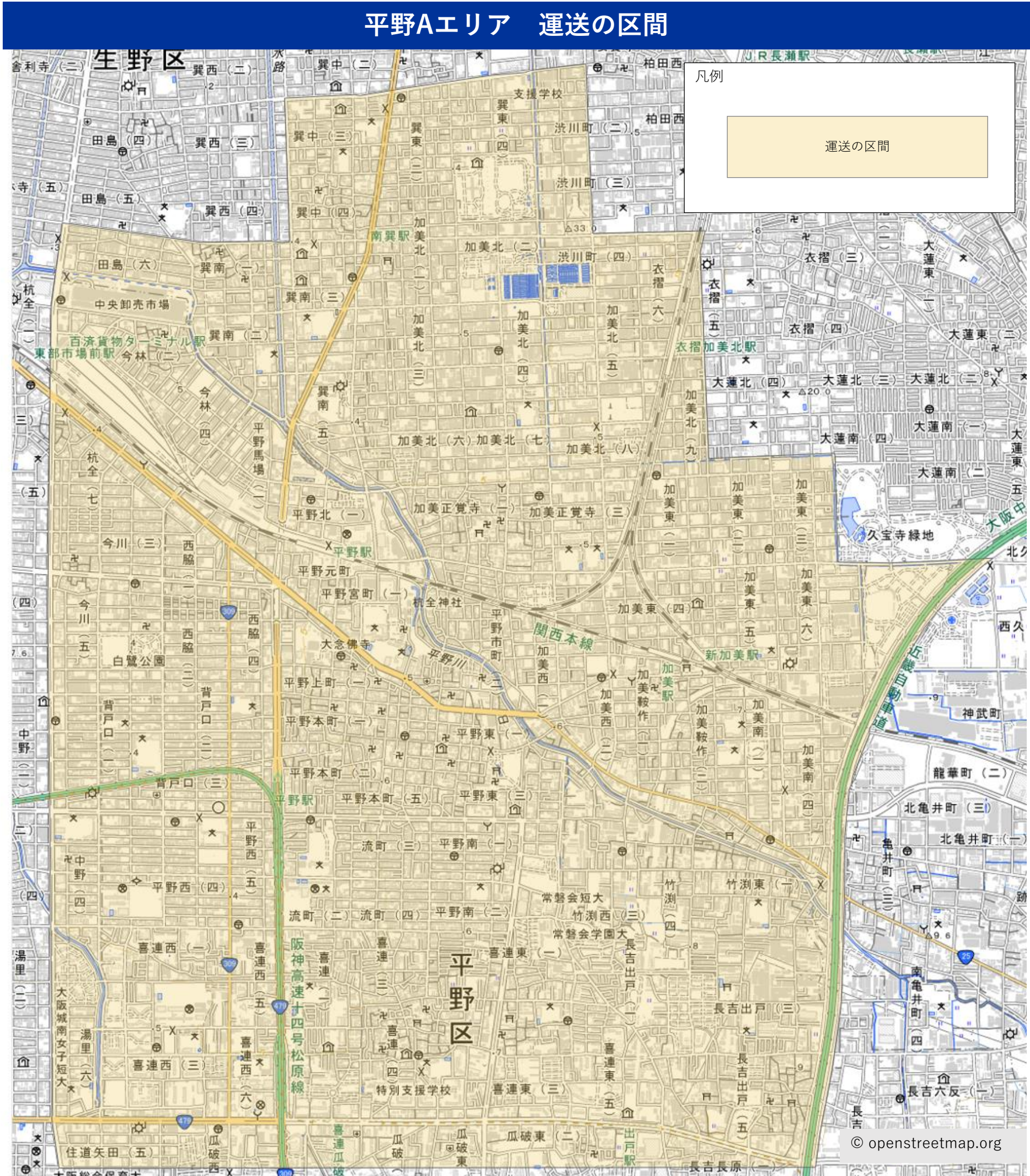
9. 営業区域(平野Bエリア)



9－1. 運送の区間(生野エリア)



9－1. 運送の区間(平野Aエリア)



9－1. 運送の区間(平野Bエリア)



(2) 事業内容

9-2. 乗降場所（集計表）

エリア	乗降場所（新設）	乗降場所 （既存バス停留所）	計
生野	8 7 箇所	1 0 8 箇所	1 9 5 箇所
平野A	1 1 9 箇所	1 1 6 箇所	2 3 5 箇所
平野B	1 1 1 箇所	1 1 5 箇所	2 2 6 箇所
うち 平野A・平野B （共通）	4 9 箇所	5 3 箇所	1 0 2 箇所
総計 （平野エリア）	1 8 1 箇所	1 7 8 箇所	3 5 9 箇所

(2) 事業内容

9-3. 乗降場所（ステッカー貼付イメージ）

既存バス停留所の標柱へのステッカー貼付イメージ



コンビニエンスストア、薬局等へのステッカー貼付イメージ



電柱へのステッカー貼付イメージ



(2) 事業内容

9-3. 乗降場所（バーチャルイメージ）

バーチャル乗降場所

「現地に乗降場所の明示物を設置せず
アプリ内の写真のみで明示する」

アプリ画面イメージ(乗降場所写真)

